I-O DATA

Easy Saver Pro 4

取扱説明書

操作編

M-MANU200418-03

もくじ

使ってみる……3

EasySaver4 Pro を起動する……4
バックアップ方法いろいろ……6
おまかせバックアップ……8
バックアップジョブを新規作成する……14
バックアップジョブを開く……23
　バックアップジョブを設定する……28
　バックアップ対象のファイルを選別する……33
　バックアップスケジュールを確認・削除する……37
　バックアップジョブ設定引き継ぎ機能……39
リストア（復元）する……41
　バックアップしたデータをリストア（復元）する……42
　バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する
　　（バックアップデータブラウジング）……45
　バックアップジョブを削除する……47
EasySaver4 Pro を終了する……49

ふろく……50

バックアップジョブの画面について……51
EasySaver のプロパティについて……54
EasySaver Restore について……60
バックアップ結果の確認について……63
困ったときには……64
　バックアップ中にスキップする設定……66
EasySaver4 Pro の削除……68
お問い合わせ……69

■取扱説明書の説明

本ソフトウェアに添付の取扱説明書は【インストール編】と【操作編】に分かれています。

インストール編	本ソフトウェアのインストール方法および各クライアントPCの共通動作オプションの設定を説明しています。 **ネットワーク管理者の方がお読みください。**
操作編	本ソフトウェアの使い方を説明しています。 また、トラブルが発生したときの対処方法も記載しています。

使ってみる

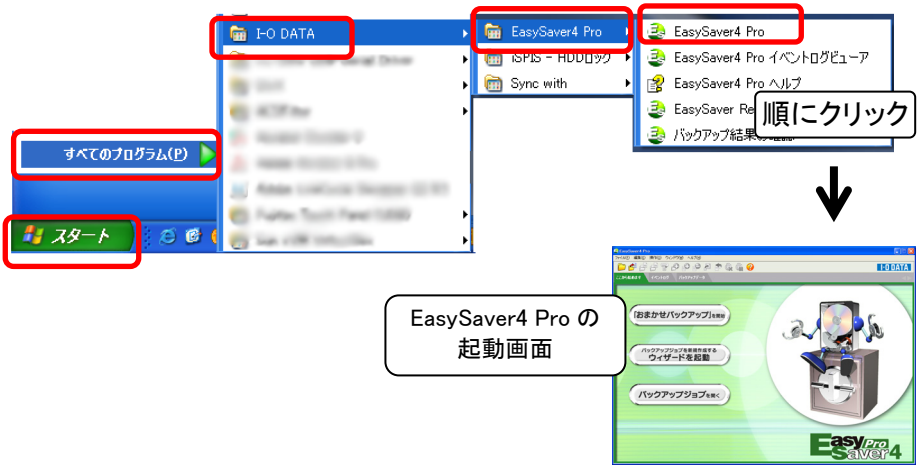
EasySaver4 Pro を起動する……4
バックアップ方法いろいろ……6
おまかせバックアップ……8
バックアップジョブを新規作成する……14
バックアップジョブを開く……23
　バックアップジョブを設定する……28
　バックアップ対象のファイルを選別する……33
　バックアップスケジュールを確認・削除する……37
　バックアップジョブ設定引き継ぎ機能……37
リストア（復元）する……41
　バックアップしたデータをリストア（復元）する……42
　バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する
　　（バックアップデータブラウジング）……45
　バックアップジョブを削除する……47
EasySaver4 Pro を終了する……49

EasySaver4 Pro を起動する

インストールした EasySaver4 Pro は[スタート]メニューから起動できます。

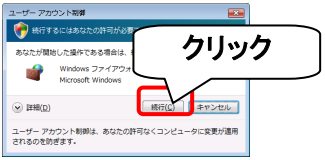
[スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver4 Pro]→[EasySaver4 Pro]を順にクリックし、起動します。

▼画面例:Windows XP



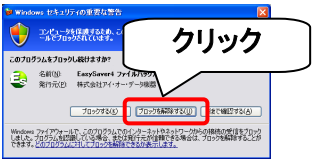
Windows 7/Vista®をお使いの場合

EasySaver4 Pro をはじめて起動した際に、以下の画面が表示されます。
[続行]をクリックしてください。



Windows XP Service Pack 2以降をお使いの場合

EasySaver4 Pro をはじめて起動した際に、以下の画面が表示されます。
[ブロックを解除する]をクリックしてください。



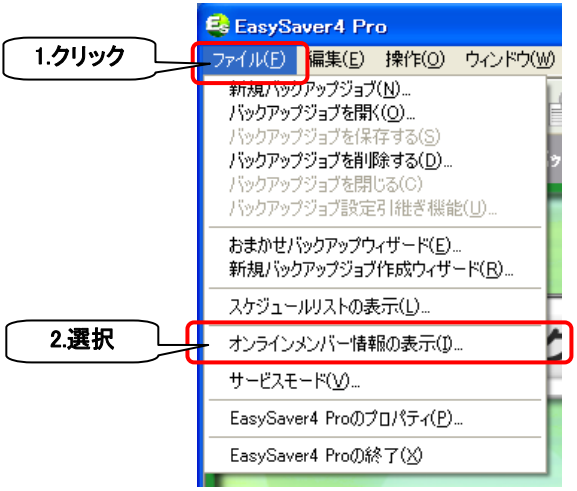
以上で、EasySaver4 Pro の起動は完了です。

参考

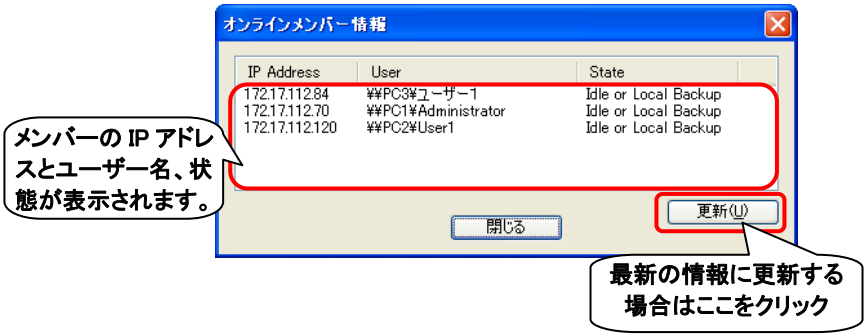
オンラインメンバー情報の表示について

EasySaver4 Pro をインストールしているメンバーの状態を画面で確認することができます。

① ［ファイル］メニュー→［オンラインメンバー情報の表示］の順に、クリックします。

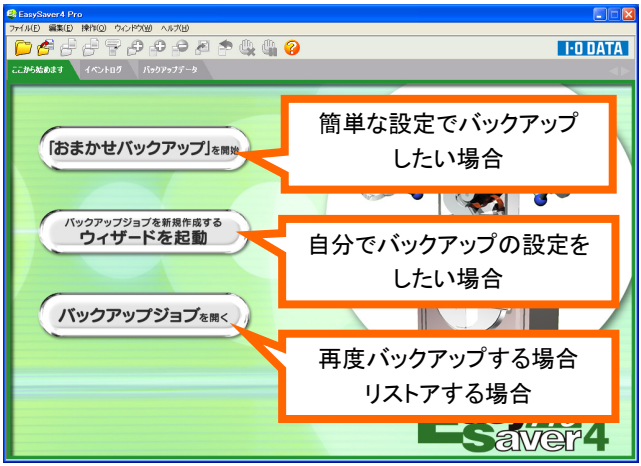


② ［更新］ボタンをクリックしてください。メンバーの「IPアドレス」と「ユーザー名」と「状態」を確認できます。最新の情報に更新する場合は［更新］ボタンをクリックしてください。



バックアップ方法いろいろ

EasySaver4 Pro では、自分でバックアップの設定を行えるのはもちろん、面倒な設定なしでメールデータなどのバックアップが行える「おまかせバックアップ」の機能も用意しています。



おまかせバックアップ	簡単な設定でバックアップしたい場合にクリックします。 【おまかせバックアップ】(8ページ)参照
ウィザードを起動	バックアップするファイルやフォルダを自分で設定したい場合にクリックします。 【バックアップジョブを新規作成する】(14ページ)参照
バックアップジョブ	バックアップジョブを開いて、再度バックアップする場合やリストアする場合にクリックします。 【バックアップジョブを開く】(23ページ)参照

参考①

バックアップジョブとは・・・

EasySaver4 Pro では、バックアップは「バックアップジョブ」という単位で管理されています。
まず最初に、バックアップしたいファイルやフォルダ、バックアップ先のドライブ、必要に応じてスケジュールなどを指定してバックアップジョブを作成します。
それ以降はバックアップジョブを指定してバックアップを行います。
バックアップジョブはいくつでも作成することができ、スケジュールなどの設定もバックアップジョブごとに設定できます。
ただし、一旦作成したバックアップジョブにファイルやフォルダの追加をしたり、バックアップモードを変更することはできません。このような追加変更が必要な場合は、新たにジョブを作成する必要があります。

ご注意

・弊社製 HDPX/HDMX シリーズ（ライトプロテクト時）など、Windows からリムーバブルディスクとして認識されるデバイス（リムーバブルメディアを使用しないタイプのみ）にバックアップする場合、デバイスの空き容量がバックアップに要する容量より少ない場合はバックアップできません。

・EasySaver4 Pro でバックアップおよびリストア中は、スタンバイ／休止／スリープなどの省電力モードにすることはできません。

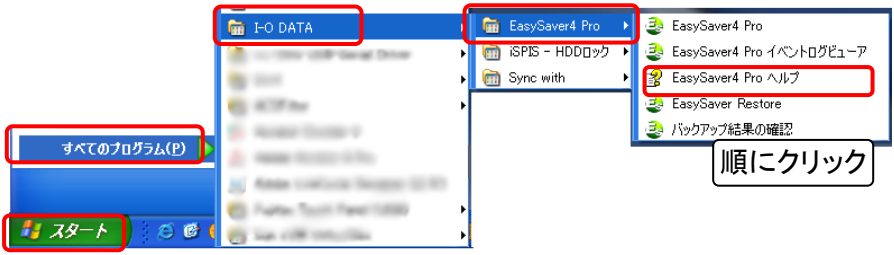
参考②

EasySaver4 Pro ヘルプもご利用ください

EasySaver4 Pro の詳細については、「EasySaver4 Pro ヘルプ」をご覧ください。

「EasySaver ヘルプ」は以下を順にクリックして起動できます。

［スタート］→［（すべての）プログラム］→[I-O DATA]→[EasySaver4 Pro]→［EasySaver4 Pro ヘルプ］



おまかせバックアップ

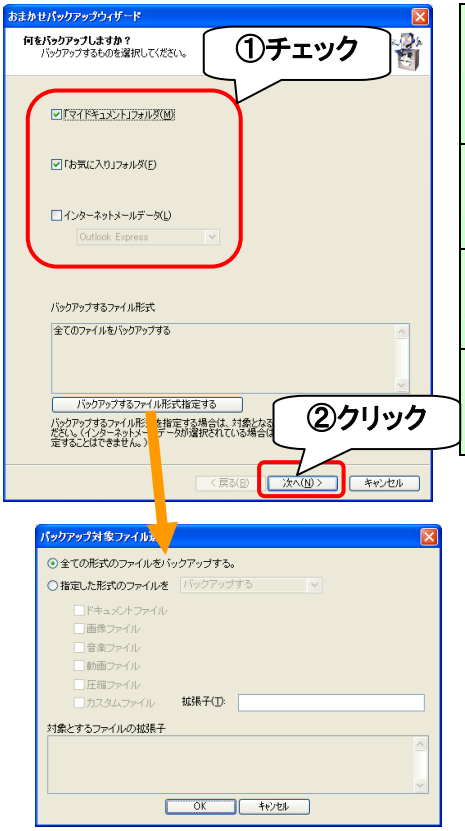
EasySaver4 Pro 起動画面の[おまかせバックアップ]では、お使いのパソコンの「マイドキュメントフォルダ」「お気に入りフォルダ」「インターネットメールデータ」などを簡単にバックアップすることができます。

※「インターネットメールデータ」をバックアップするとき、メールソフトを終了させてからバックアップしてください。メールソフトが使用中の場合、インターネットメールデータをバックアップできない場合があります。

1 起動画面の[おまかせバックアップ]をクリックします。

2 バックアップするフォルダやデータをチェックします。
チェック後、[次へ]をクリックします。

▼ Windows 7/Vista®以外の場合（画面例：Windows XP）

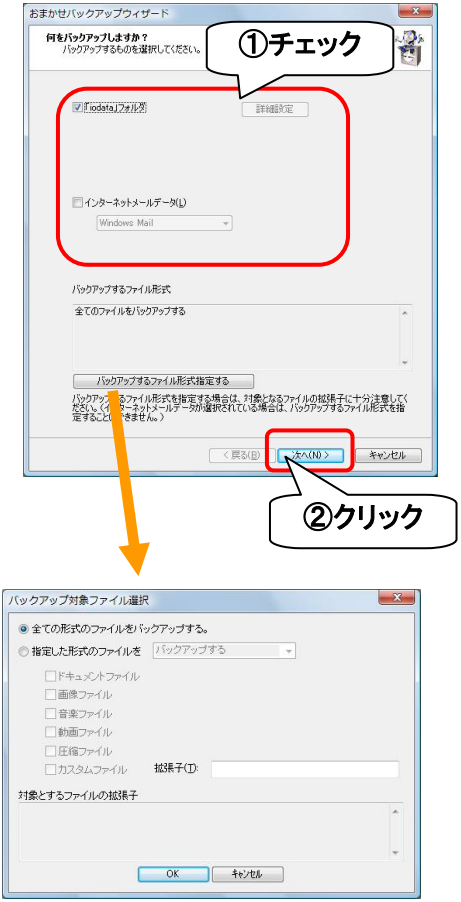


「マイドキュメント」フォルダ	「マイドキュメント」フォルダ内のフォルダやファイルをバックアップします。
「お気に入り」フォルダ	Internet Explorer の「お気に入り」をバックアップします。
インターネットメールデータ	Outlook 2007/Express、Becky!のメールデータをバックアップします。
バックアップするファイル形式を指定する	バックアップするファイルの形式（種類）を指定します。

■バックアップするメールの内訳

メールソフト	OS	メール	アドレス
Outlook 2007	Windows 7/Vista®/XP	○	○
Outlook Express	Windows XP/2000	○	○
Becky!	Windows Vista®/XP/2000	○	○
Windows Mail	Windows Vista®	○	○
Windows Live Mail	Windows 7	○	×

▼ Windows 7/Vista®の場合

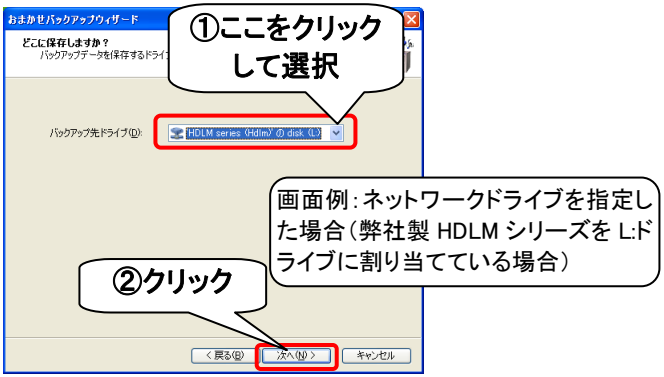


「ユーザー」フォルダ	「ユーザー」フォルダ内のフォルダやファイルをバックアップします。 *※「ユーザー」フォルダには、お気に入りやドキュメント、マイミュージックなどのデータが全て含まれています。* *※「ユーザー」フォルダのチェックを外し、[詳細設定]ボタンをクリックすると、バックアップしたい「ユーザー」フォルダを任意に選択できます。*
インターネットメールデータ	・Windows 7 Windows Live Mail Outlook 2007 ・Windows Vista® Windows Mail, Outlook 2007 Becky! 上記のメールデータをバックアップします。
バックアップするファイル形式を指定する	バックアップするファイルの形式（種類）を指定します。

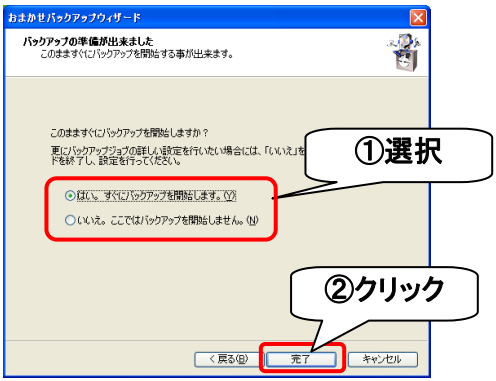
ご注意

- **Windows 7/Vista®/XP/2000 では、ログオンしたユーザーのファイルやフォルダが対象となります。**
- **リストアする際は、そのバックアップ時に使用した同じパソコン、同じ環境、同じ OS、同じユーザーでないとリストアできません。**

3 [バックアップ先ドライブ]を選択し、[次へ]をクリックします。



4 すぐにバックアップを開始するかどうかを選択し、[完了]をクリックします。「はい。すぐにバックアップを開始します。」を選択した場合は、設定した内容ですぐにバックアップを開始します。

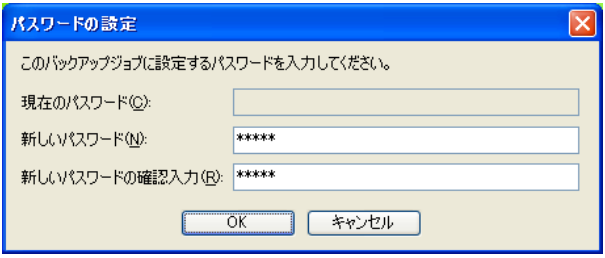


参考

[いいえ。ここではバックアップを開始しません。]を選択した場合、バックアップジョブ画面でファイルやフォルダの追加や、各設定がおこなえます。
また、 バックアップ **をクリックすると、設定した内容でバックアップを開始します。**
（一度バックアップをおこなうと、バックアップモードの変更やファイルやフォルダの追加はできません。）

- **スケジュール設定などバックアップジョブの設定をおこなう場合は**
  →[バックアップジョブを設定する]28ページ参照
- **バックアップするファイルを選別する場合は**
  →[バックアップ対象のファイルを選別する]33ページ参照

5 [パスワードの設定]画面が表示されます。
このバックアップジョブにパスワードを設定する場合は、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認入力]欄に同じパスワードを入力後、[OK]をクリックします。
※パスワードは必ずメモしてください。
※パスワードが不要な場合は、空白のまま[OK]をクリックしてください。



現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合は必要ありません。 パスワードを設定していない場合は空欄のままにします。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合や以前のパスワードを変更する場合に入力します。 パスワードを設定しない、変更しない場合は空欄のままにします。
新しいパスワードの確認入力	上記[新しいパスワード]と同じパスワードを入力します。

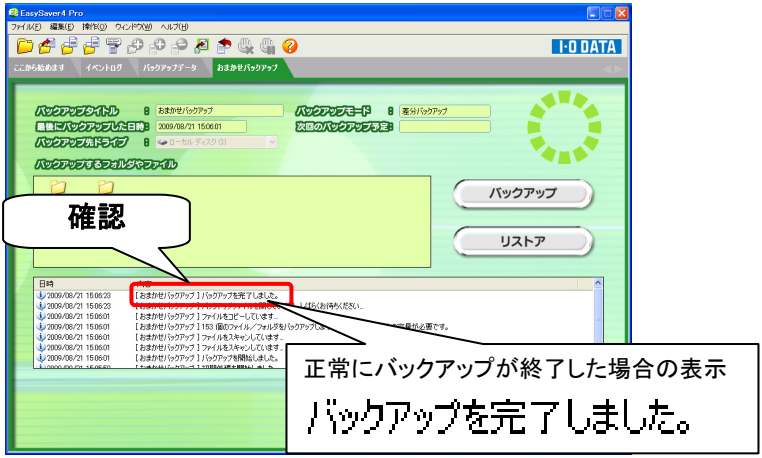
ご注意

・パスワードを忘れた場合、バックアップおよびリストアを行うことができません。必ず、何かにメモしてください。
・パスワードは「****」と表示され確認できません。大文字・小文字の区別もありますので、間違えないようご注意ください。**
・ 上記は初めてパスワードを設定する場合の画面です。以前にパスワードを設定した場合は、[現在のパスワード]欄にパスワードを入力します。
・ 次回、パスワードを変更する場合は、上記[現在のパスワード]欄に現在設定しているパスワードを入力後、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認入力]欄に新しいパスワードを入力します。

参考

同じ PC を複数のユーザーが使用する場合、同じドライブにそれぞれのバックアップジョブを作成することができます。その場合、別のユーザーが実行しないように必ずパスワードを設定してください。

6 バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップが完了しました。」と表示されます。



正常にバックアップが終了しない場合は・・・

正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。
そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。
また、バックアップできないファイルやフォルダをスキップしてバックアップすることができます。詳しくは66ページ「バックアップ中にスキップする設定」をご覧ください。

以上で「おまかせバックアップ」は終了です。
作成したバックアップジョブの再実行やリストア、またバックアップジョブの各設定をおこなう場合は、【バックアップジョブを開く】23ページへお進みください。

バックアップジョブを新規作成する

おまかせバックアップでバックアップできないデータを保存する場合はバックアップジョブを新規で作成します。
あらかじめ、バックアップしたいファイル、データがどこにあるかアプリケーション等の取扱説明書でご確認ください。

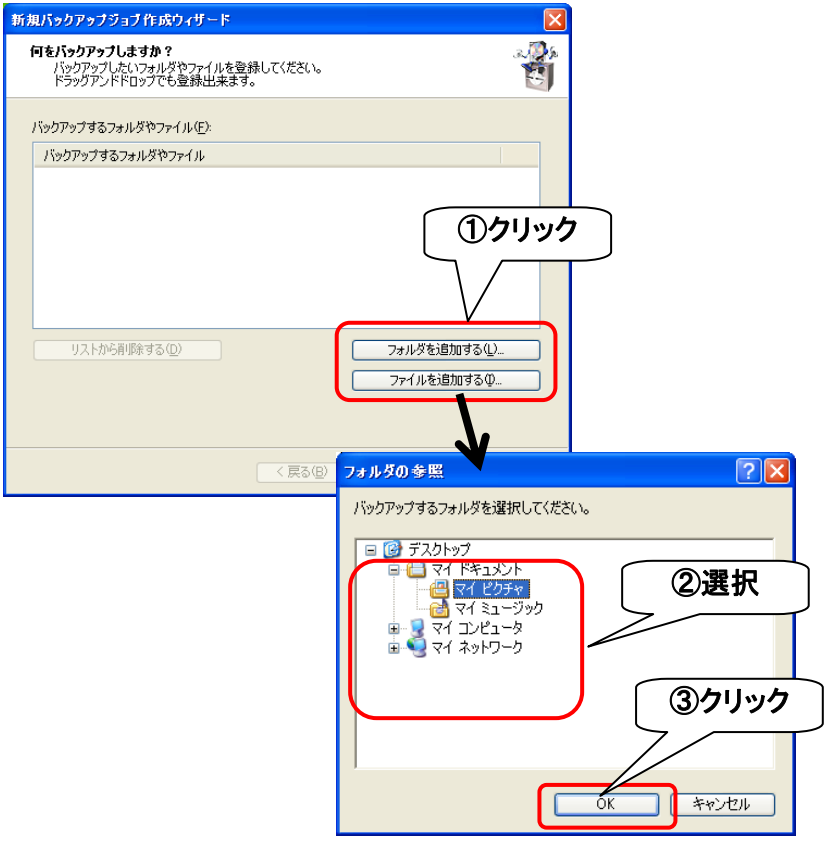
ご注意

弊社では、アプリケーション等のバックアップしたいファイル、データがどこにあるかについては、お答えできません。また、OS やアプリケーション自体のバックアップ（コピー）は行えません。

1 起動画面の［ウィザードを起動］をクリックします。

2 バックアップするファイルやフォルダを全て選択します。[フォルダを追加する]または[ファイルを追加する]をクリックし、設定します。

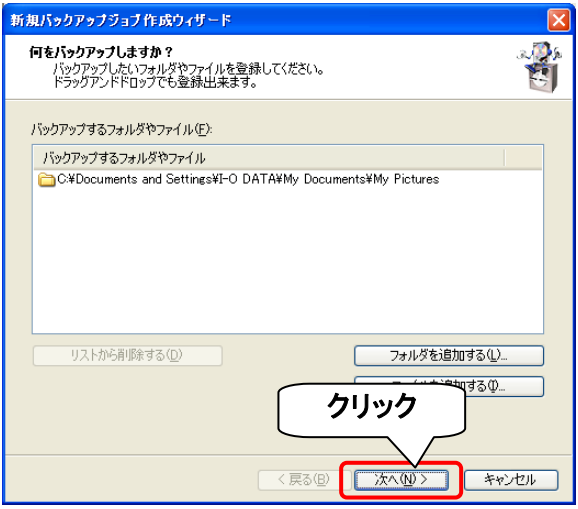
（画面例：フォルダを追加する場合）



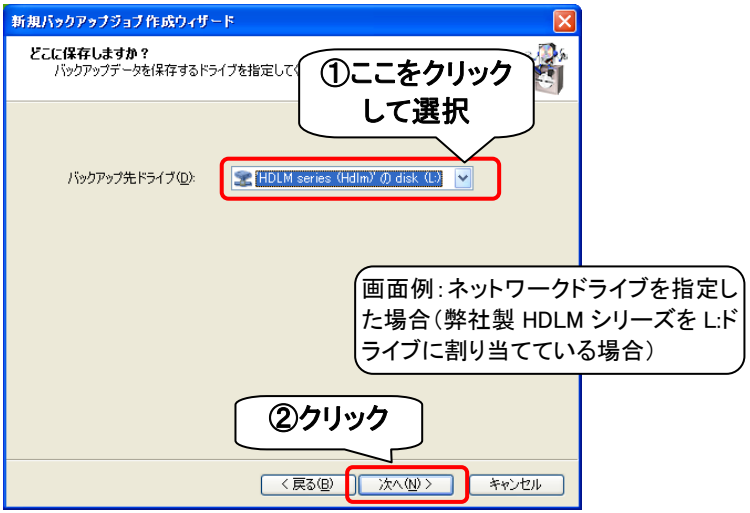
参考

エクスプローラなどからバックアップしたいファイルやフォルダを直接ドラッグアンドドロップで登録することもできます。
また、ショートカットアイコン（拡張子が .lnk のファイル）をバックアップする際には、別途エクスプローラやデスクトップ上から直接ドラッグアンドドロップで登録してください。

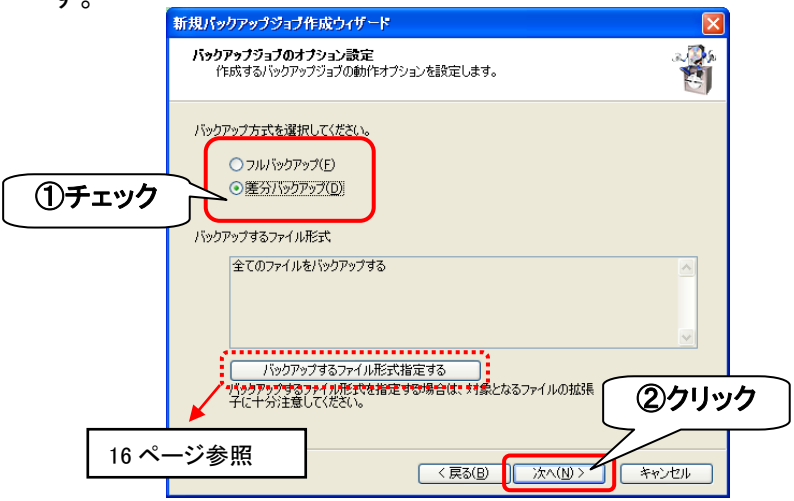
3 ［次へ］をクリックします。



4 ［バックアップ先ドライブ］を選択し、［次へ］をクリックします。



5 バックアップの動作オプションをチェック後、[次へ]をクリックします。

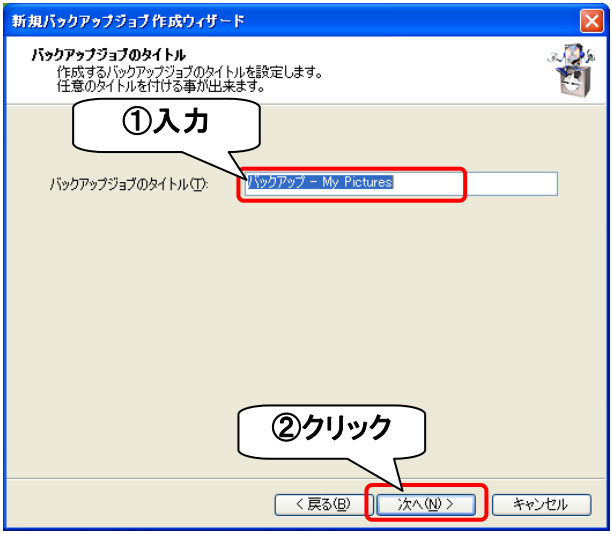


フルバックアップ	バックアップ対象のファイルやフォルダを常にすべてバックアップします。 万一バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑えることができます。 ただし、より多くのバックアップするためのディスクスペースを必要とします。 ※容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップ(分割バックアップ)する場合は、こちらを選択してください。
差分バックアップ	バックアップ対象のファイルやフォルダのうち、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。 変更されたもののみをバックアップしますので、[フルバックアップ]に比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。 ※分割バックアップはできません。
バックアップするファイル形式を指定する	バックアップするファイルの形式(種類)を指定します。 7 ページ参照

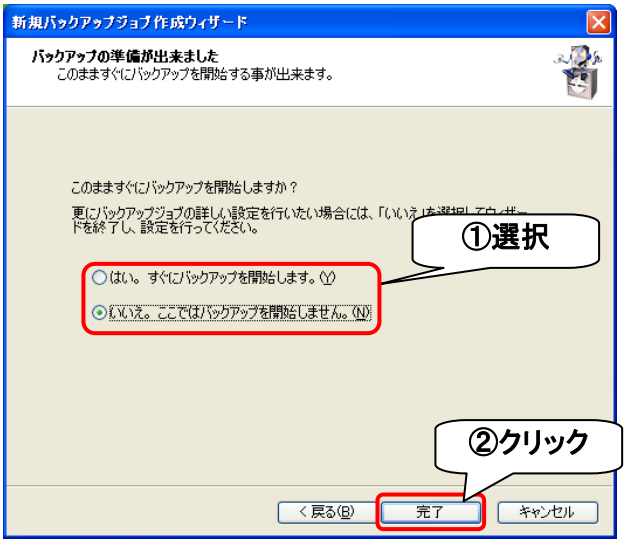
[世代数]を設定している場合

[バックアップジョブの設定]画面(28ページ)で[バックアップデータ]に[世代数]を設定している場合は、世代数に応じたバックアップを行います。

6 [バックアップジョブのタイトル]を入力後、[次へ]をクリックします。「デジカメデータ」などわかりやすい名前でつけておくと便利です。



7 すぐにバックアップを開始するかどうかを選択し、[完了]をクリックします。「はい。すぐにバックアップを開始します。」を選択した場合は、設定した内容ですぐにバックアップを開始します。



ご注意

バックアップ先の空き容量がバックアップするデータ容量よりも少ない場合、バックアップできません。ただし、交換可能なメディアにバックアップする場合は、下記[*参考②*]の方法でバックアップが可能です。

参考①

[いいえ。ここではバックアップを開始しません。]を選択した場合、バックアップジョブ画面でファイルやフォルダの追加や、各設定がおこなえます。
また、[バックアップ]をクリックすると、設定した内容でバックアップを開始します。
(一度バックアップをおこなうと、バックアップモードの変更やファイルやフォルダの追加はできません。)
・スケジュール設定などバックアップジョブの設定をおこなう場合は
→[バックアップジョブを設定する]28ページ参照
・バックアップするファイルを選別する場合は
→[バックアップ対象のファイルを選別する]33ページ参照

参考②

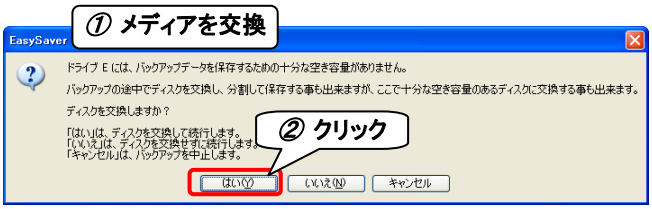
分割バックアップについて
バックアップ先に十分な空き容量がない場合は、以下のいずれかの方法でメディアを交換し、バックアップをおこなってください。
※「差分バックアップ」の設定にしている場合、分割バックアップはおこなえません。

方法1:バックアップ開始前に十分な空き容量のあるメディアに交換する(分割バックアップしない場合)

バックアップ先のメディアを十分な空き容量のあるメディアに交換する方法です。

① 下記のメッセージが表示されましたら、バックアップ先のメディアを十分な空き容量のあるメディアに交換します。

② メディア交換後、下記画面の[はい]ボタンをクリックします



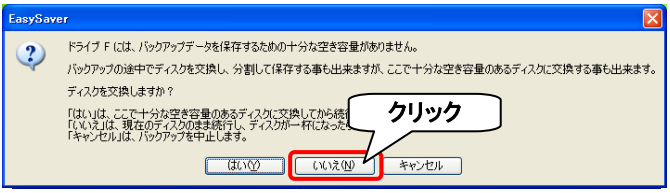
バックアップを続行します。

21ページ*8* の手順へお進みください。

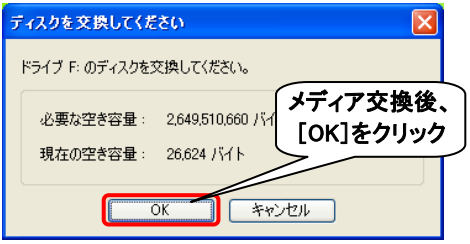
方法2：分割バックアップを行う

複数のメディアに分割してバックアップする方法です。
以下の手順および画面となります。

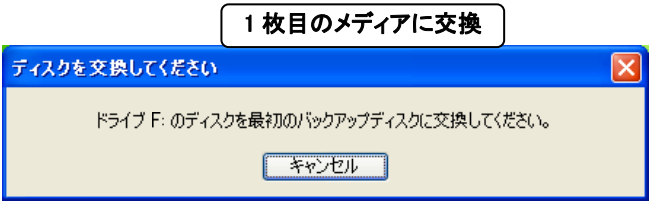
① 下記画面の[いいえ]ボタンをクリックします。
→バックアップを開始します。



② 途中で以下の画面が表示されます。
バックアップ先のメディアを交換し、[OK]をクリックします。

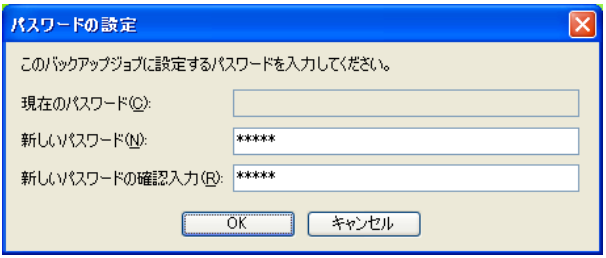


③ すべてのバックアップが終了すると、以下の画面が表示されます。
最初にバックアップしたメディアに交換します。



バックアップを続行します。
次ページ**8** の手順へお進みください。

8 [パスワードの設定]画面が表示されます。
このバックアップジョブにパスワードを設定する場合は、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認入力]欄に同じパスワードを入力後、[OK]をクリックします。
※パスワードは必ずメモしてください。
※パスワードが不要な場合は、空白のまま[OK]をクリックしてください。



現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合は必要ありません。 パスワードを設定していない場合は空欄のままにします。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 (半角英数字で最大16文字まで入力可) 初めてパスワードを設定する場合や以前のパスワードを変更する場合に入力します。 パスワードを設定しない、変更しない場合は空欄のままにします。
新しいパスワードの確認入力	上記[新しいパスワード]と同じパスワードを入力します。

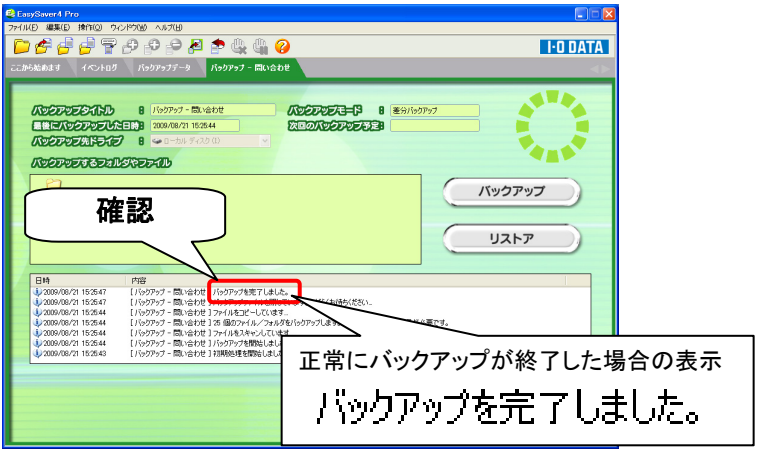
ご注意

- **パスワードを忘れた場合、バックアップおよびリストアを行うことができません。必ず、何かにメモしてください。**
- **パスワードは「******」と表示され確認できません。大文字・小文字の区別もありますので、間違えないようご注意ください。**
- **上記は初めてパスワードを設定する場合の画面です。以前にパスワードを設定した場合は、[現在のパスワード]欄にパスワードを入力します。**
- **次回、パスワードを変更する場合は、上記[現在のパスワード]欄に現在設定しているパスワードを入力後、[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認入力]欄に新しいパスワードを入力します。**

参考

同じ PC を複数のユーザーが使用する場合、同じドライブにそれぞれのバックアップジョブを作成することができます。その場合、別のユーザーが実行しないようにバックアップジョブのタイトルをわかりやすいものにし、必ずパスワードを設定してください。

9 バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップを完了しました。」と表示されます。



正常にバックアップが終了しない場合は・・・

正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。
そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。
また、バックアップできないファイルやフォルダをスキップしてバックアップすることができます。詳しくは66ページ「バックアップ中にスキップする設定」をご覧ください。

以上で「新規バックアップジョブ作成ウィザード」でのバックアップは終了です。
作成したバックアップジョブの再実行やリストア、またバックアップジョブの各設定をおこなう場合は、【バックアップジョブを開く】23ページへお進みください。

バックアップジョブを開く

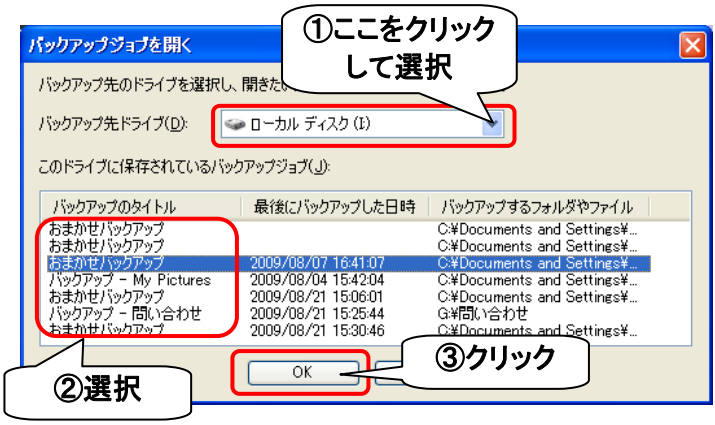
EasySaver4 Pro でのバックアップを一度でも完了していれば、バックアップジョブが作成されます。

EasySaver4 Pro 起動画面の［バックアップジョブを開く］では、作成したバックアップジョブの再実行や、リストア、また、作成したバックアップジョブのスケジュールバックアップ設定や自動バックアップ設定、バックアップ対象とするファイルの拡張子の設定などさまざまな設定を行うことができます。

※ただし、ファイルやフォルダの追加はおこなえません。新たにバックアップジョブを作成する必要があります。

1 起動画面の［バックアップジョブを開く］をクリックします。

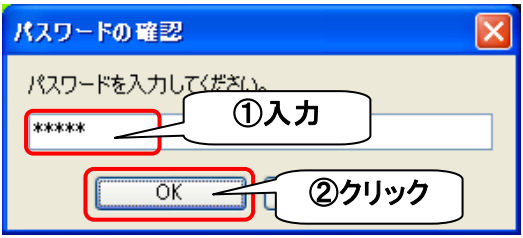
2 EasySaver4 Proで以前にバックアップジョブを保存したドライブを選択します。
以前にバックアップしたバックアップジョブが表示されますので、選択後、[OK]をクリックします。



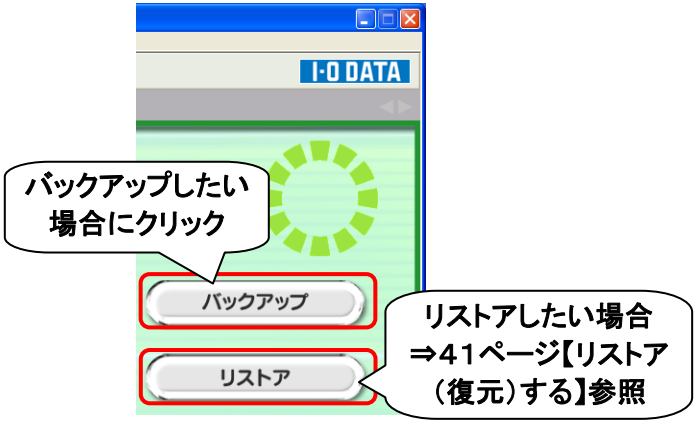
使用上のご注意

多数のファイルがバックアップされたバックアップジョブを開く場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。(ファイル数にもよりますが、長い場合で 30 分近くかかる場合もあります。)

3 バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。
設定したパスワードを入力後、[OK]をクリックします。



4 再度バックアップを行う場合は バックアップ (バックアップ)を、リストア(復元)を行う場合は リストア (リストア)をクリックします。



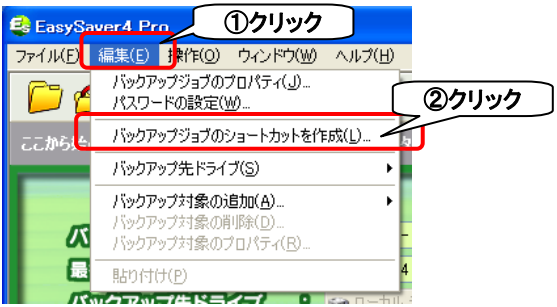
参考①

バックアップジョブ画面で設定の変更がおこなえます。
・スケジュールバックアップや自動バックアップなどの設定をおこなう場合は
→[バックアップジョブを設定する]28ページ参照
・バックアップするファイルを選別する場合は
→[バックアップ対象のファイルを選別する]33ページ参照

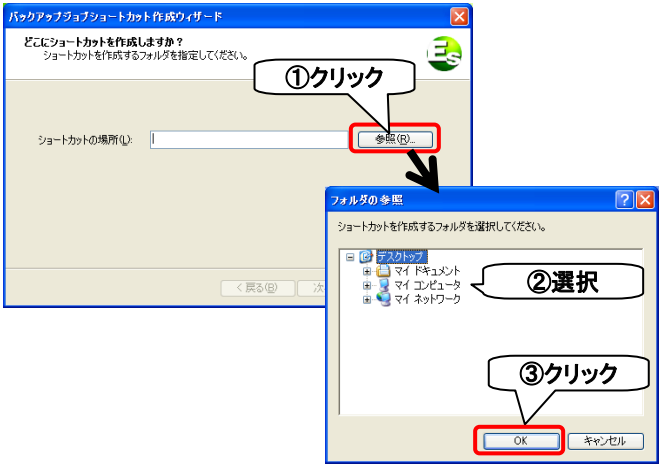
参考②

[編集]メニューの[バックアップジョブのショートカットを作成]で、バックアップジョブのショートカットを作成することができます。

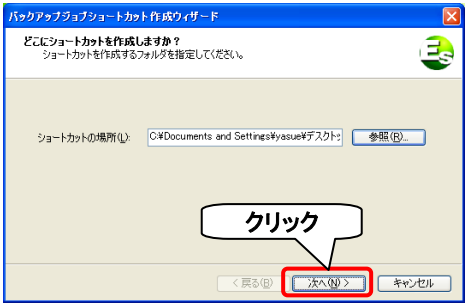
① [編集]→[バックアップジョブのショートカットを作成]をクリックします。



② [参照]ボタンをクリックし、ショートカットの保存先を選択します。

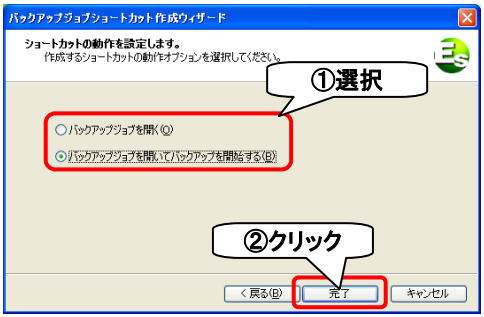


③ [次へ]ボタンをクリックします。

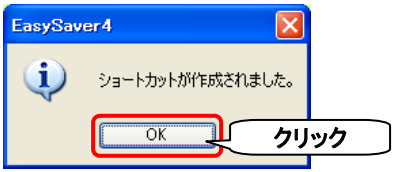


④ [ショートカットの名前]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

⑤ ショートカットを開いたときの動作を選択し、[完了]ボタンをクリックします。



⑥ [OK]ボタンをクリックします。

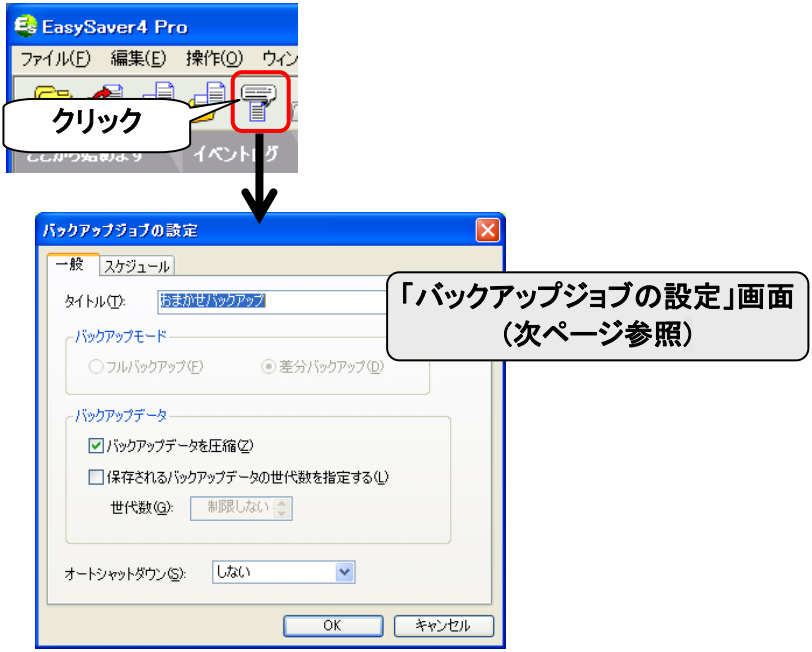


以上でバックアップジョブのショートカット作成は完了です。

バックアップジョブを設定する

（バックアップジョブのプロパティ）をクリックすれば、スケジュールバックアップや自動バックアップの設定などのバックアップジョブの設定を行えます。

（バックアップジョブのプロパティ）をクリックします。
→[バックアップジョブの設定]画面が表示されます。



参考①

一旦作成したバックアップジョブにファイルやフォルダの追加をしたり、バックアップモードを変更することはできません。このような追加変更が必要な場合は、新たにジョブを作成する必要があります。

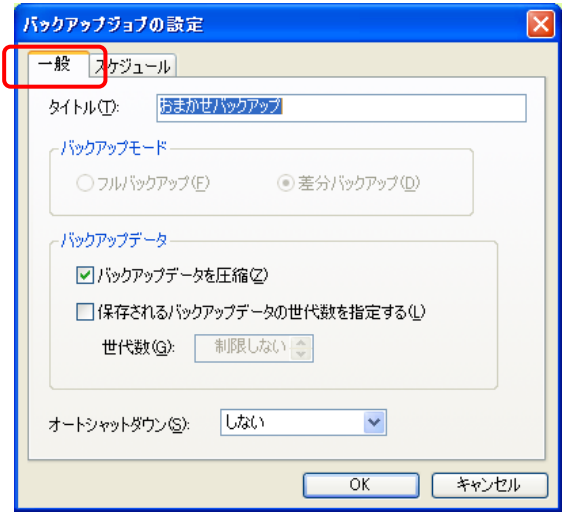
参考②

スケジュールバックアップや自動バックアップを設定すると、EasySaver4 Pro が自動的にタスクトレイに常駐します。また「EasySaver のプロパティ」でタスクトレイアイコンの表示/非表示設定がおこなえます。
（54ページ【EasySaver のプロパティについて】参照）

○「バックアップジョブの設定」画面の詳細

「バックアップの設定」画面には、バックアップジョブの一般的な設定などを行う[一般]タブと、バックアップジョブのスケジュールを設定できる[スケジュール]タブがあります。

◎[一般]タブ



タイトル	バックアップジョブのタイトルです。
バックアップモード	このバックアップジョブのバックアップ方式を指定します。 ・*フルバックアップ* バックアップ対象のファイルやフォルダを、常にすべてバックアップします。 万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。 ※容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップする場合(分割バックアップ)は、こちらを選択してください。 ・*差分バックアップ* バックアップ対象のファイルやフォルダの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。 変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。 ※ただし容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップすること(分割バックアップ)はできません。

バックアップデータ	バックアップデータを圧縮	チェックすると、バックアップデータを圧縮して保存します。バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用する事ができます。 ※バックアップデータを圧縮する時間がかかるため、バックアップ時間が若干遅くなります。 ※バックアップするデータによってはあまり効果が期待できない場合があります。
	保存されるバックアップデータの世代数を指定する	チェックすると、保存されるバックアップデータの世代数を指定できます。(下記[参考]参照) バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用する事ができます。 フルバックアップ／差分バックアップの両方に対応しています。 ※チェックされていると、分割バックアップはできません。一度チェックを外してから実行してください。
オートシャットダウン	バックアップを完了した後、自動的にパソコンを終了(シャットダウン)します。 スケジュールを設定してあるバックアップジョブでも、オートシャットダウンを設定するとバックアップ後、自動的にパソコンを終了(シャットダウン)します。 指定できるシャットダウンの種類には、「しない」「シャットダウン」「スタンバイ」「休止状態」の4つがあります。	

参考

[バックアップデータ]の[世代数]について

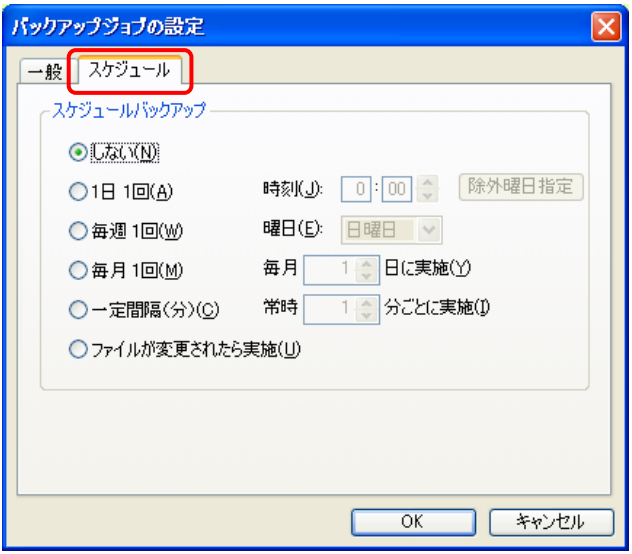
[フルバックアップ]時には、指定された世代数以前のバックアップデータを削除します。[差分バックアップ]時には、指定された世代数以前のデータを結合して一つのデータにまとめます。ただし、世代数「1」を指定した場合は、毎回以前のデータを削除します。
また、多数のファイルがバックアップされている場合は、時間がかかります。(フルバックアップと同等の時間が必要です。)その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

例えば、世代数「3」を設定している場合、3 回目のバックアップまでは通常通りの動作をし、4 回目のバックアップを行う際に、第 1 世代と第 2 世代のバックアップデータを結合した上でそれを第 2 世代とし、1 世代分の空きを作り(第 1 世代は削除されます)、4 回目のバックアップを行います。

【3 回目】		【4 回目】		【5 回目】
第 1 世代		第 2 世代		第 3 世代
第 2 世代	→	第 3 世代	→	第 4 世代
第 3 世代		第 4 世代		第 5 世代

◎[スケジュール]タブ

指定されたスケジュールに従って自動的にバックアップを実施できます。
(スケジュールバックアップ機能)



しない	スケジュールを設定しません。このバックアップジョブを常に手動でバックアップする場合にはこれを指定します。
1日1回	毎日1回、指定された時間にバックアップを実施します。 「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください。 また、[除外曜日指定]より指定した曜日のバックアップをおこなわないように設定できます。
毎週1回	毎週1回、指定された曜日／時間にバックアップを実施します。 「曜日」でバックアップを実施する曜日を指定し、「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください。
毎月1回	毎月1回、指定された日／時間にバックアップを実施します。 「毎月～日に実施」でバックアップを実施する日を指定し、「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください。
一定間隔(分)	パソコンが起動している間、指定された間隔でバックアップを実施します。 「常時～分ごとに実施」でバックアップを実施する間隔を分単位で指定してください。(次ページ「一定間隔(分)について」参照)
ファイルが変更されたら実施	バックアップ対象のフォルダ／ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。 ***(自動バックアップ機能)***

一定間隔(分)について

スケジュールバックアップの「一定間隔(分)」の時間は、バックアップの作業が終了してからの時間です。
例えば、「一定間隔(分)」に 120 分を設定し、バックアップ作業に 10 分要した場合、バックアップが終了した時間から 120 分後（前回のバックアップ開始から 130 分後）に再度バックアップを開始します。
「一定間隔(分)」間隔でバックアップが開始されるバックアップ設定ではありません。

タスクトレイアイコンについて

タスクトレイにアイコンを表示する・しないの設定に関わらず、「スケジュールバックアップ」や「自動バックアップ」の設定を行うと、自動的に EasySaver がタスクトレイに常駐します。
（タスクトレイアイコンの表示/非表示の設定については54ページ【EasySaver のプロパティについて】をご覧ください。）

EasySaverの終了手順についてのご注意

EasySaver4 Pro を終了させるには、［ファイル］メニュー→［EasySaver の終了］の順にクリックし、行ってください。（完全終了）
※タイトルバーの ボタンでは、スケジュールバックアップを終了できません。（画面は閉じますがスケジュールバックアップは終了されません。）スケジュールバックアップを含む全てのバックアップおよび EasySaver4 Pro は、上記手順でのみ終了することができます。

参考

スケジュールの延期について

以下のような場合、スケジュールバックアップが実施できない状況となります。

- パソコンに電源が入っていなかった。
- バックアップ先のドライブにメディアが入っていなかった。
- EasySaver4 Pro を終了していた。
- ネットワーク上での同時バックアップ数の制限により待機となっていた。

等・・・

このようにスケジュールバックアップで指定された時刻にバックアップを実施できなかった場合、EasySaver4 Pro は次のような動作をします。
EasySaver4 Pro は、そのスケジュールを一時延期し、バックアップが可能になり次第そのバックアップを開始します。また、スケジュールが延期されている状態で、さらにその次のスケジュールも実行できなかった場合には、そのスケジュールはキャンセルされ、最初のスケジュールのみが待機します。
つまり、何度もスケジュールを実行できなかった場合でも、バックアップが可能になって実施されるバックアップは 1 回だけです。

バックアップ対象のファイルを選別する

［編集］メニューの［バックアップ対象のプロパティ］で、バックアップ対象とするファイルの拡張子によってバックアップするファイルを選別することもできます。

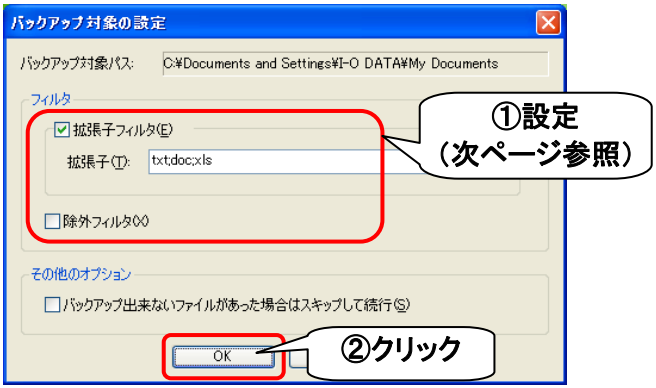
1 バックアップ対象リストで選別するファイルを選択後、［編集］メニュー→［バックアップ対象のプロパティ］をクリックします。

2 [拡張子フィルタ]にチェック後、[拡張子]欄にバックアップを選別するファイルの拡張子を入力します。

※複数の拡張子を指定したい場合には、「;」(セミコロン)で区切って入力してください。

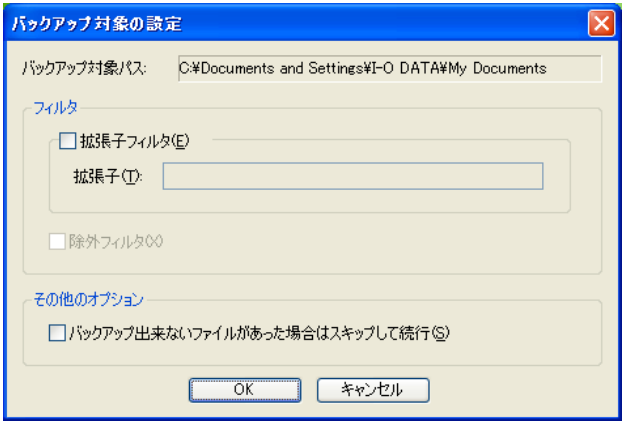
バックアップしたくないファイルを選別する場合は、[除外フィルタ]にチェックします。

設定後、[OK]をクリックします。



以上で設定は終了です。

○「バックアップ対象の設定」画面の詳細



フィルタ	ファイルの拡張子によってバックアップファイルを選別する機能です。	
	拡張子 フィルタ	拡張子によってバックアップファイルを選別する場合にチェックします。
	拡張子	選別する拡張子を入力します。 例） A.txt ファイルの場合は txt を入力 複数の拡張子を指定したい場合には、「;」(セミコロン)で区切って入力してください。
	除外 フィルタ	「バックアップしたくない」ファイルを設定する場合にチェックします。 上記で指定された拡張子を持つファイル以外のファイルがバックアップされるようになります。
その他の オプション	**[バックアップ出来ないファイルがあった場合はスキップして続行]**をチェックすると、バックアップ中に、バックアップできないファイルが見つかった場合でも、エラー終了せずにそのファイルをスキップしてバックアップを続行するようになります。 (次ページ[参考]参照)	

参考

ファイルをバックアップできない状況には、以下のようなものがあります。

・ファイルがロックされている

一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取られないようにロックする場合があり、そのようなファイルはバックアップする事ができません。
基本的には、全てのアプリケーションを終了してからバックアップを実行する事をお勧めしますが、常時起動しているアプリケーションが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合は、前ページ画面の[バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行]のチェックボックスにチェックします。

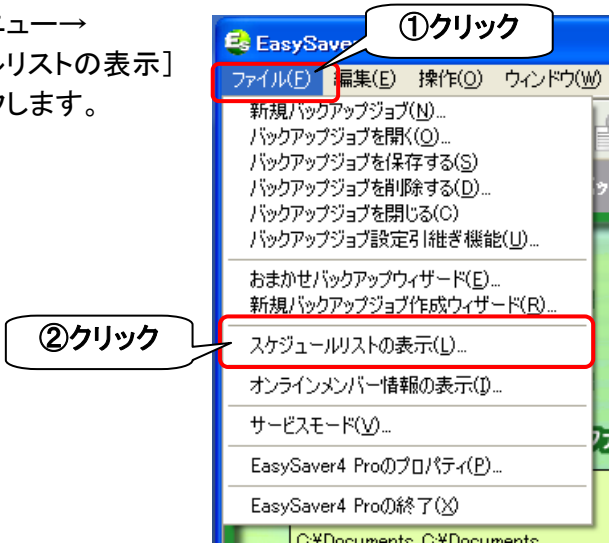
・ファイル／フォルダ名に特殊な文字が使用されている

一部の特殊な文字をファイル名に使用しているとバックアップできない場合があります。
そのようなファイルも、前ページ画面の[バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行]のチェックボックスにチェックしてスキップする事ができます。
※スキップされたファイル名はイベントログに表示されます。ファイル名中の「?」で表示されている部分が該当する文字です。

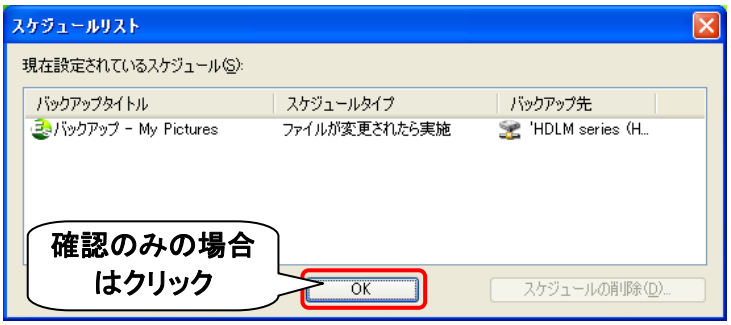
バックアップスケジュールを確認・削除する

28ページ[バックアップジョブを設定する]の[スケジュール]タブで設定したバックアップジョブのスケジュールは、[ファイル]メニューの[スケジュールリストの表示]で、確認することができます。
また、スケジュール内容の変更等で不要となったスケジュールを削除することもできます。*※スケジュールのみ削除され、データは残ったままとなります。*

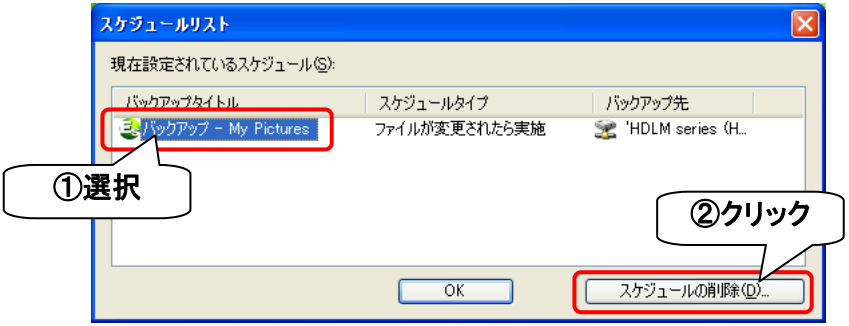
1 [ファイル]メニュー→[スケジュールリストの表示]の順にクリックします。



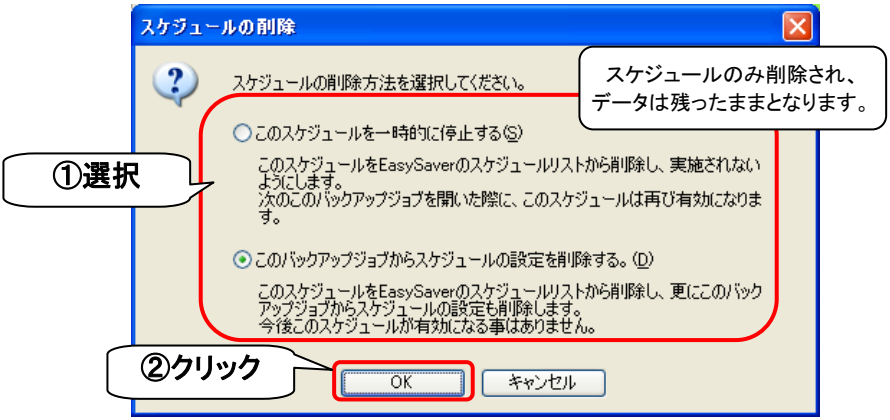
2 確認画面が表示されます。
確認のみの場合は、そのまま[OK]をクリックします。



3 スケジュールを削除する場合は、削除する[バックアップタイトル]を選択後、[スケジュールの削除]をクリックします。

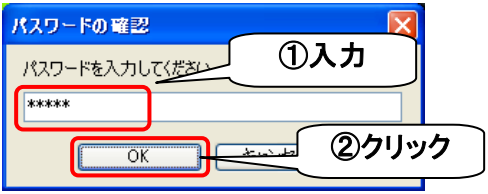


4 削除方法を選択後、[OK]をクリックします。



パスワードについて

バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は以下の画面が表示されます。パスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。



以上でスケジュールの確認・削除は終了です。

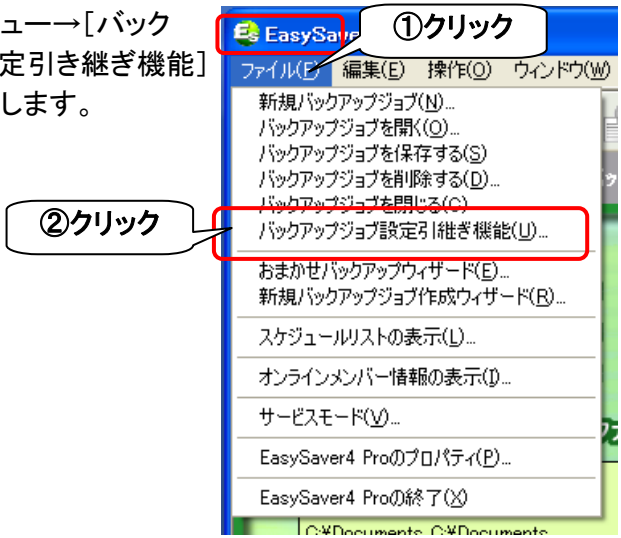
バックアップジョブ設定引き継ぎ機能

保存されているバックアップジョブの設定内容を他のドライブに引き継ぐことができます。

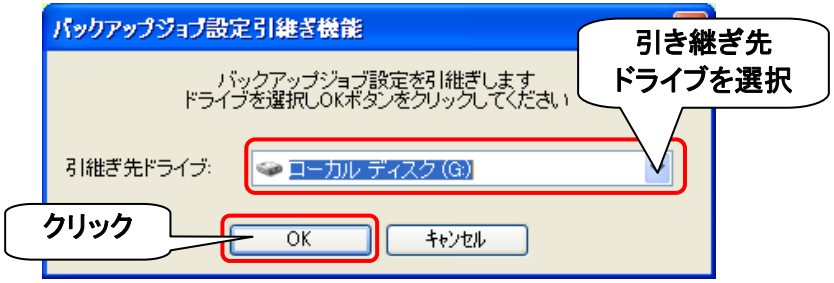
※バックアップ先に空き容量がなくなり、バックアップ先を変更したい場合などに便利な機能です。

1 他のドライブに設定を引き継ぎたいバックアップジョブを開きます。

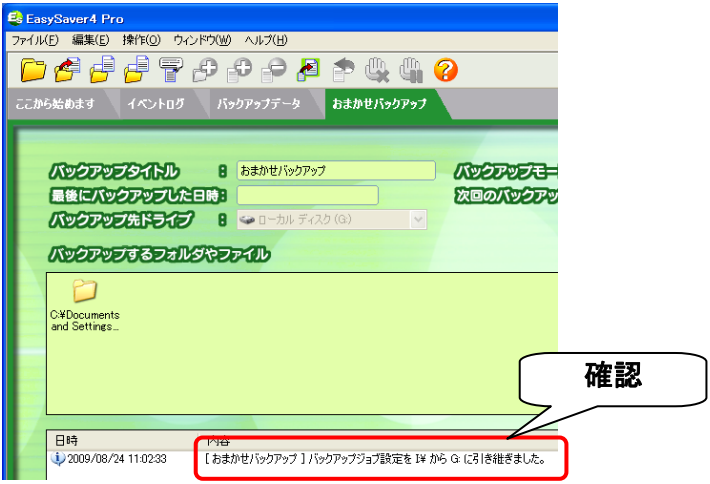
2 [ファイル]メニュー→[バックアップジョブ設定引き継ぎ機能]の順にクリックします。



3 引き継ぎ先ドライブを選択して、[OK]をクリックします。



4 「[xxxxx]バックアップジョブ設定をxxからxxに引き継ぎました。」と表示されます。



設定引き継ぎ時のご注意

バックアップジョブ設定の引き継ぎを行った後、新しく設定したドライブには今までのバックアップデータは引き継がれません。

・一度バックアップを行っておくことをおすすめします。
・引き継ぎを行う前のバックアップデータが必要になった場合は、以前のバックアップドライブのデータを保持することをおすすめします。
・引き継ぎを行う前のデータをリストアしたい場合は、以前のドライブからバックアップジョブを開いてください。

以上でバックアップジョブ設定の引き継ぎは終了です。

リストア（復元）する

リストアの方式について

バックアップをおこなったフォルダ･ファイルのリストアには 2 通りの方法があります。

方法 1:バックアップジョブを開き、リストアする場合

（次ページ[バックアップしたデータをリストア（復元）する]参照）

バックアップジョブを開いて、バックアップジョブに設定されたフォルダ単位でリストアします。（ファイル単位でリストアする場合は下記の***方法 2***でおこないます。）
次ページ手順***4*** の[リストアオプション]で「現在のフォルダ／ファイルにそのまま上書き」を指定すると、現在存在するフォルダ／ファイルに対してバックアップデータを上書きします。この場合は、フォルダ／ファイルの作成や上書きしか行いませんので、バックアップ後に追加されたファイルやフォルダはそのまま残ります。

例）

ファイル 1 2004/04/13 ファイル 2 2004/04/14	ファイル 1 2004/04/15 ファイル 2 2004/04/16 ファイル 3 2004/04/17 ファイル 4 2004/04/18	ファイル 1 2004/04/13 ファイル 2 2004/04/14 ファイル 3 2004/04/17 ファイル 4 2004/04/18
バックアップを実施した時の状態。	**リストア開始前の状態。** バックアップ後に、ファイル 1、2 が変更され、ファイル 3、4 が追加されている。	**リストアを実施した後の状態。** ファイル 1、2 がリストアにより復元（上書き）され、ファイル 3、4 はそのまま残っている。

フォルダ内の構成を完全に「バックアップを実施した時の状態」にリストアしたい場合は、次ページ手順***4*** [リストアオプション]で、「現在のフォルダ/ファイルを削除してからリストア」を選択してください。

方法2:[バックアップデータ]ウィンドウからエクスプローラ感覚で フォルダ/ファイルを選択し、リストアする場合

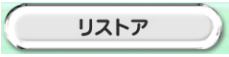
（[バックアップジョブの内容を確認･リストア（復元）する（バックアップデータブラウジング）]45ページ参照）

[バックアップデータ]ウィンドウからエクスプローラ感覚でバックアップジョブを確認し、フォルダ/ファイル単位でリストアすることができます。
なお、バックアップしたフォルダ/ファイルの元のフォルダにリストアした場合は、上記の*例)*と同様に、同じフォルダ/ファイル名は上書きとなります。（バックアップ後に追加されたフォルダ/ファイルはそのまま残ります。）

バックアップしたデータをリストア（復元）する

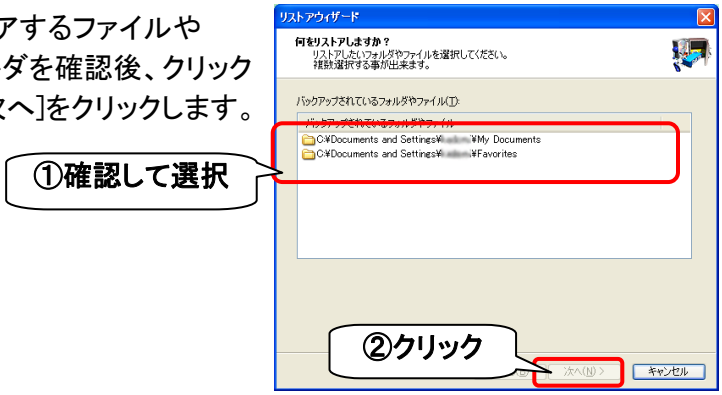
バックアップジョブを開いてリストア（復元）する手順を説明します。

1 バックアップジョブを開きます。
（【バックアップジョブを開く】23ページ参照）

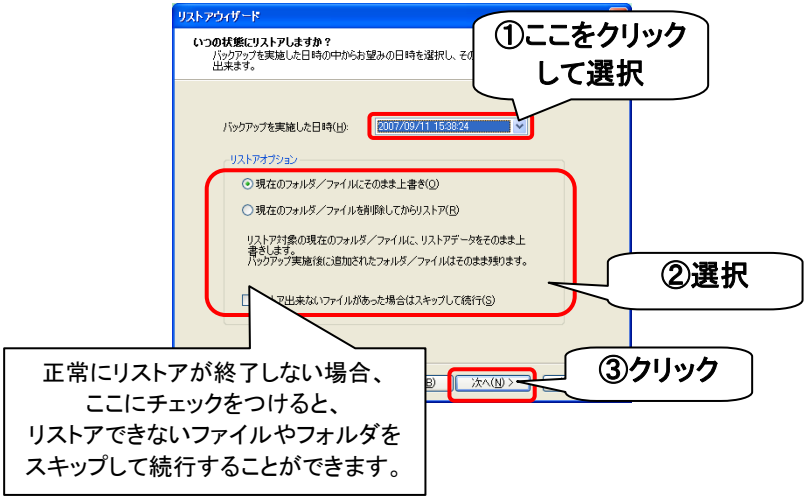
2 

（リストア）をクリックします。

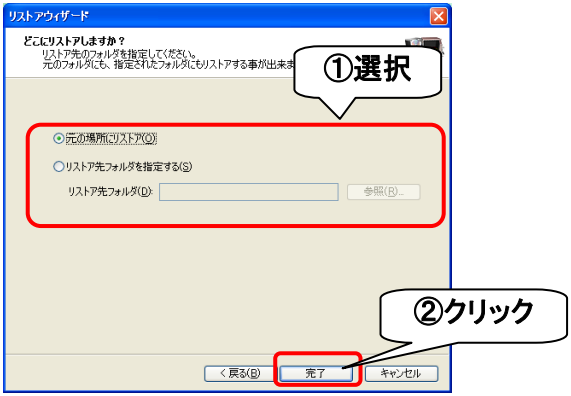
3 リストアするファイルやフォルダを確認後、クリックし、[次へ]をクリックします。



4 バックアップした日時の中からリストアしたいフォルダ/ファイルの日時を選択し、[リストアオプション]を選択後、[次へ]をクリックします。



5 リストア先フォルダを選択し、[完了]をクリックします。
⇒リストアを開始します。



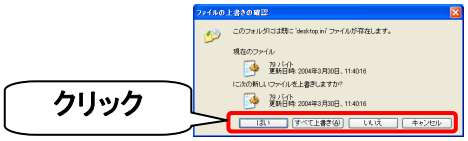
複数のフォルダ/ファイルを一度にリストアする場合

リストアしたいフォルダ/ファイルを複数選択した場合は、[元の場所にリストア]のみ選択可能です。

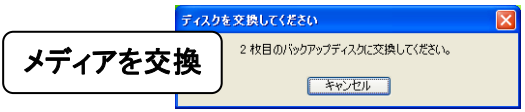
参考

[リストアオプション]で[現在のフォルダ/ファイルにそのまま上書き]を選択した場合に、リストア先にすでにファイルがある場合は、以下の画面が表示されます。

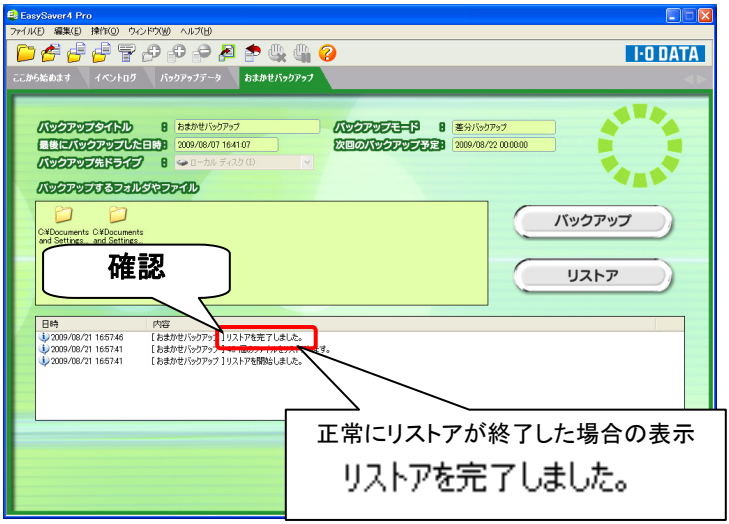
上書きする場合は[はい]を、しない場合は[いいえ]をクリックします。[すべて上書き]をクリックするとすべてのファイルを上書きします。[キャンセル]をクリックするとリストアを中断します。



6 複数のメディアにバックアップしていた場合は、以下の画面が表示されます。
2番目以降にバックアップしたメディアにバックアップした順に交換してください。
交換後、リストアを続行します。



7 リストアが正常に終了すると、画面下に「リストアを完了しました。」と表示されます。



正常にリストアが終了しない場合・・・

正常にリストアが終了しない場合、リストア対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度リストアを行ってください。
また、リストアできないファイルやフォルダをスキップしてリストアすることができます。その場合、42ページ手順 4 にて「リストアできないファイルがあった場合はスキップして続行」のチェックをつけてください。

参考

バックアップ時からパソコン環境や OS が変わった場合・・・

バックアップジョブが保存されているドライブが、バックアップした時と同じドライブ文字（番号）であれば、リストアすることが可能です。
ただし、バックアップしたときと同じフォルダ構成でリストアするため、同じフォルダ名が存在しない場合は自動的に同じフォルダを作成し、リストアします。

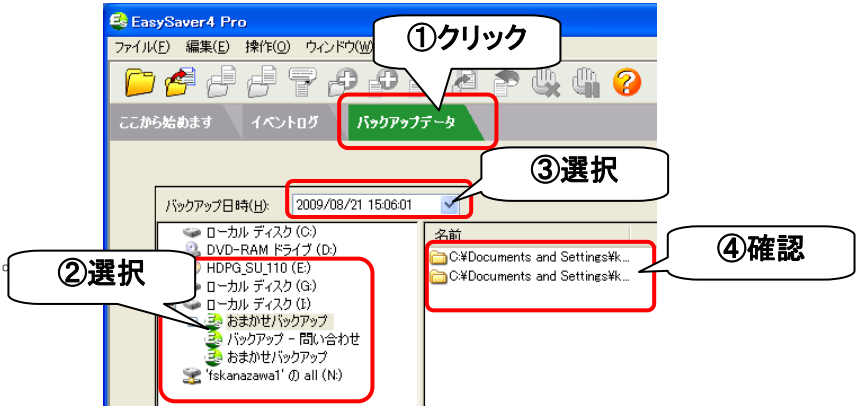
以上でリストアは終了です。

バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する（バックアップデータブラウジング）

［バックアップデータ］ウィンドウで、バックアップジョブの内容を確認したり、また、ファイル・フォルダ単位でリストアを行うことができます。

（バックアップデータブラウジング）

1 ［バックアップデータ］ウィンドウをクリックし、確認したいバックアップジョブを選択し、［バックアップ日時］を選択すれば、選択した日時のバックアップジョブの内容を確認することができます。

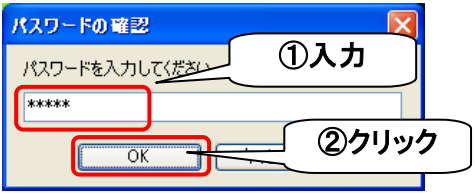


ご注意

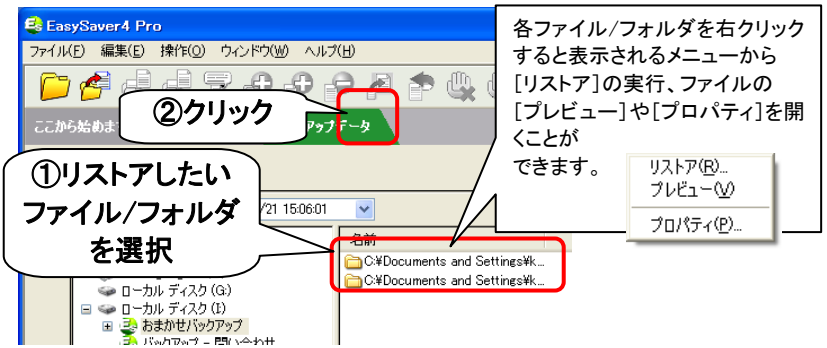
多数のファイルがバックアップされたバックアップジョブを開く場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。（ファイル数にもよりますが、長い場合で 30 分近くかかる場合もあります。）

パスワードについて

バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は以下の画面が表示されます。パスワードを入力後、［OK］ボタンをクリックします。

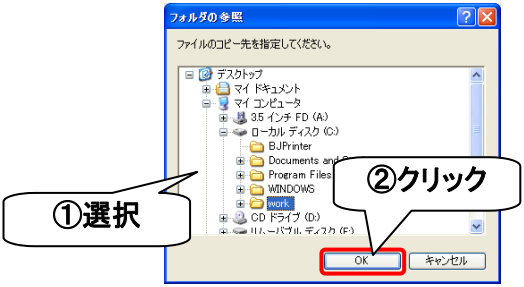


2 リストアをおこなう場合はファイル/フォルダをクリック後、 (リストア)ボタンをクリックします。*※エクスプローラやデスクトップにドラッグ&ドロップしてもリストアできます。(10Mバイト以内)*

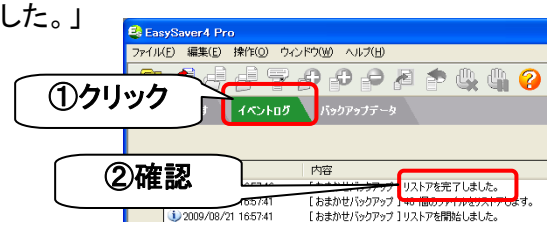


3 リストア先のフォルダを指定し、[OK]をクリックします。

⇒リストアを開始します。



4 リストアが正常に終了すると、[イベントログ]ウィンドウに「リストアを完了しました。」と表示されます。



参考

バックアップ時からパソコン環境や OS が変わった場合・・・

バックアップジョブが保存されているドライブが、バックアップした時と同じドライブ文字(番号)であれば、リストアすることが可能です。

以上でバックアップジョブの中身の確認・リストアは終了です。

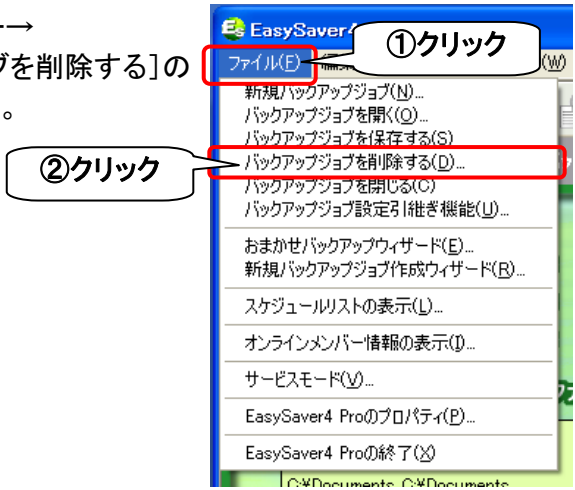
バックアップジョブを削除する

［ファイル］メニューの［バックアップジョブを削除する］で、バックアップジョブを削除することができます。

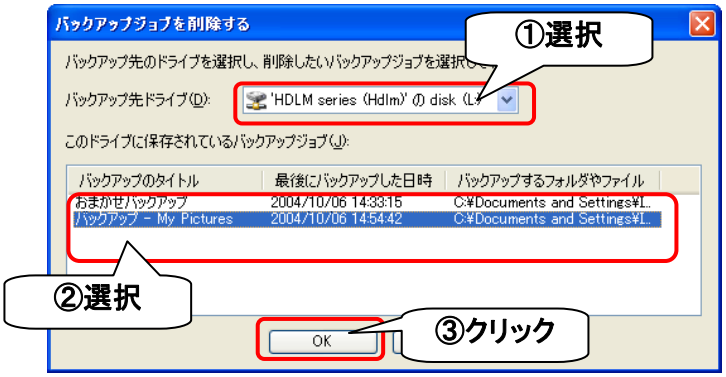
ご注意

バックアップジョブを削除すると、バックアップジョブおよびバックアップしたファイルは削除され、元に戻りません。十分に確認してから削除してください。

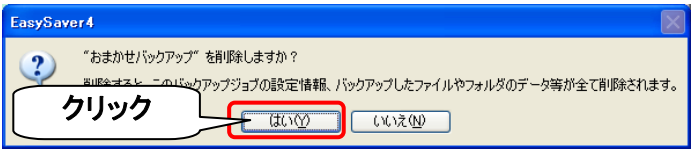
1 ［ファイル］メニュー→［バックアップジョブを削除する］の順にクリックします。



2 ［バックアップ先ドライブ］を選択後、削除する［バックアップのタイトル］を選択し、［OK］をクリックします。

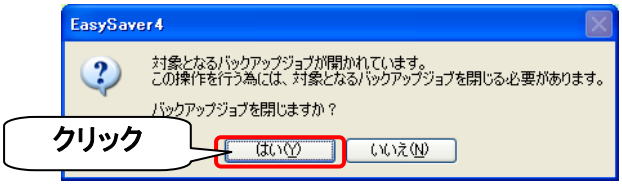


3 ［はい］をクリックすれば、削除されます。



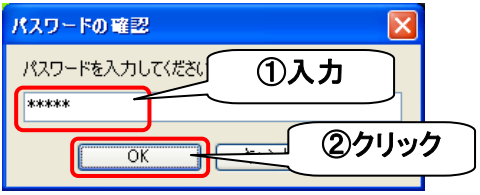
ご注意

・バックアップジョブを削除するとバックアップジョブおよびバックアップしたファイルは削除され、元に戻りません。十分に確認してから削除してください。
・削除するバックアップジョブが開かれている場合は、以下の画面が表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。



パスワードについて

バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は以下の画面が表示されます。パスワードを入力後、［OK］ボタンをクリックします。



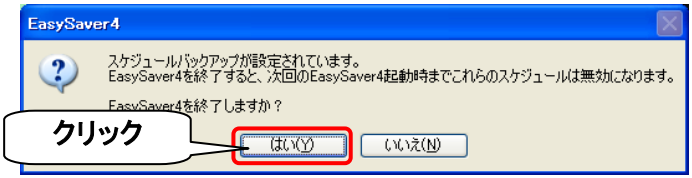
以上でバックアップジョブの削除は終了です。

EasySaver4 Pro を終了する

EasySaver4 Pro は以下の手順で終了することができます。

1 [ファイル]メニュー
→[EasySaverの終了]の順に
クリックします。

2 以下の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。



終了手順をお守りください

EasySaver4 Pro を終了させるには、上記手順の[ファイル]メニュー→[EasySaver の終了]で行ってください。(完全終了)

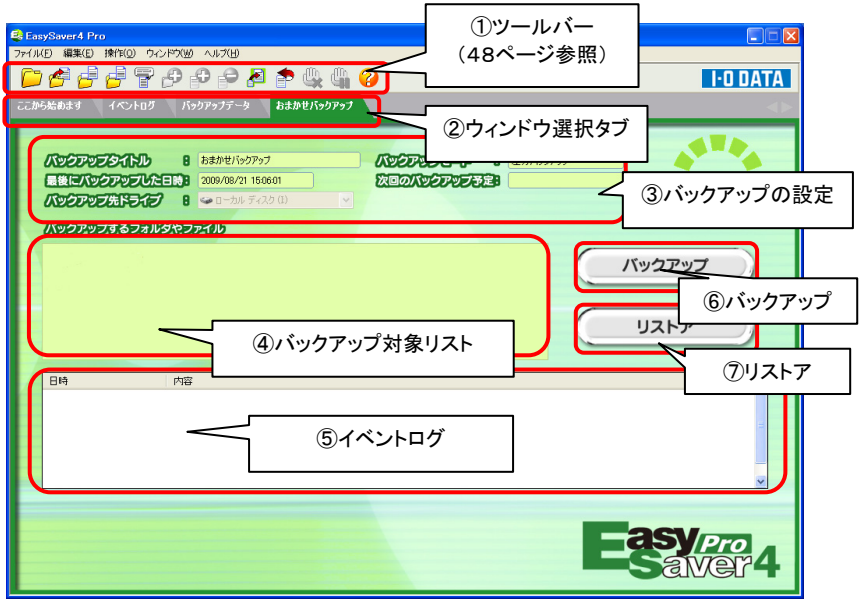
※タイトルバーの ボタンでは、スケジュールバックアップを終了できません。(画面は閉じますがスケジュールバックアップは終了されません。)スケジュールバックアップを含む全てのバックアップおよび EasySaver4 Pro は、上記手順でのみ終了することができます。

以上で、EasySaver4 Pro は終了です。

ふろく

バックアップジョブの画面について……51
EasySaver のプロパティについて……54
EasySaver Restore について……60
バックアップ結果の確認について……63
困ったときには……64
　バックアップ中にスキップする設定……66
EasySaver4 Pro の削除……68
お問い合わせ……69

バックアップジョブの画面について



①ツールバー

EasySaver4 Pro を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行する事ができます。現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。（アイコンの詳細は53ページ「「ツールバー」の詳細」参照）

②ウィンドウ選択タブ

「ここから始めます」「イベントログ」「バックアップデータ」「ジョブウィンドウ」などのウィンドウのうち、どのウィンドウを表示するかを選択するためのものです。

タブには各ウィンドウの名前が表示されていますので、表示したいウィンドウのタブをクリックする事で、そのウィンドウを表示する事ができます。現在表示されているウィンドウのタブは緑色で表示されます。

複数のジョブウィンドウを開いて、タブをウィンドウ内に表示し切れなかったばあいには、右端の ◀ ▶ をクリックする事でウィンドウ内に表示するタブを切り替える事ができます。

③バックアップの設定

このバックアップジョブの基本的な設定などがここに表示されます。

④バックアップ対象リスト

このバックアップジョブがバックアップの対象とするファイルやフォルダがここに表示されます。

バックアップしたいファイルやフォルダを登録する場合には、このウィンドウに直接ドラッグアンドドロップする事もできます。

⑤イベントログ

このバックアップジョブでのバックアップやリストア処理中の処理の内容や、発生したエラーなどがここに表示されます。

⑥バックアップ

現在表示されているバックアップジョブでバックアップを開始します。

⑦リストア

現在表示されているバックアップジョブでリストアを開始するためのリストアウィザードを表示します。

○「ツールバー」の詳細

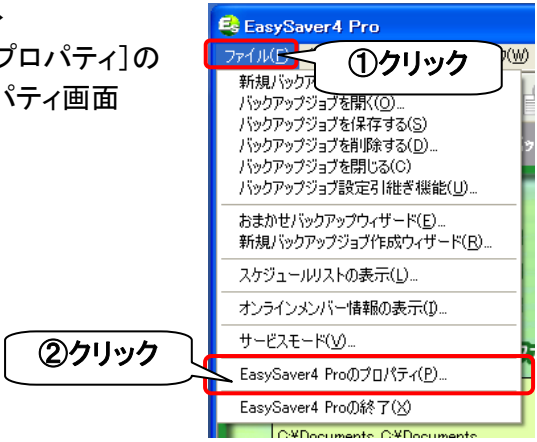
EasySaver4 Pro を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行する事ができます。現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。

	新規バックアップジョブ	新規に空のバックアップジョブを作成します。
	バックアップジョブを開く	既存のバックアップジョブを開きます。
	バックアップジョブを保存する	現在表示されているバックアップジョブを保存します。
	バックアップジョブ設定引き継ぎ機能	現在表示されているバックアップジョブの設定の引き継ぎをおこないます。
	バックアップジョブのプロパティ	現在表示されているバックアップジョブの設定を変更します。
	バックアップ対象フォルダの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のフォルダを追加します。
	バックアップ対象ファイルの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のファイルを追加します。
	バックアップ対象ファイルの削除	バックアップ対象リストで選択されているバックアップ対象フォルダ／ファイルを、バックアップ対象リストから削除します。
	バックアップ	現在表示されているバックアップジョブでバックアップを開始します。
	リストア	現在表示されているバックアップジョブでリストアを開始するためのリストアウィザードを表示します。
	中止	現在表示されているバックアップジョブで実行中のバックアップ／リストアを中止します。
	一時停止／再開	現在表示されているバックアップジョブで実行中のバックアップ／リストアを一時停止または実行を再開します。
	ヘルプ	EasySaver4 Pro のヘルプウィンドウを表示します。

EasySaver のプロパティについて

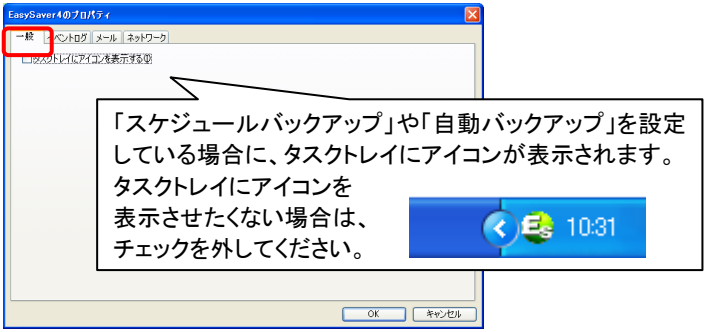
「EasySave3 Pro のプロパティ」画面では、タスクトレイにアイコンを表示する設定や、イベントログの設定、バックアップ結果のメール送信設定、ネットワーク環境で使用する際の共通動作オプションの設定などがおこなえます。

［ファイル］メニュー→
［EasySaver4 Proのプロパティ］の順にクリックし、プロパティ画面を表示させます。



○「EasySaver4 Pro のプロパティ」画面の詳細

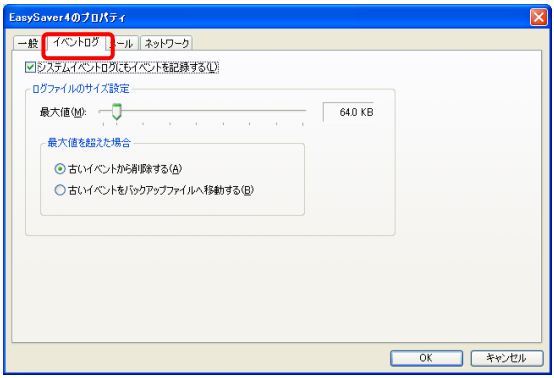
◎［一般］タブ



スケジュールバックアップや自動バックアップを設定していない場合

スケジュールバックアップ・自動バックアップを設定していない場合には、上記の設定を行ってもアイコンは表示されません。

◎[イベントログ]タブ



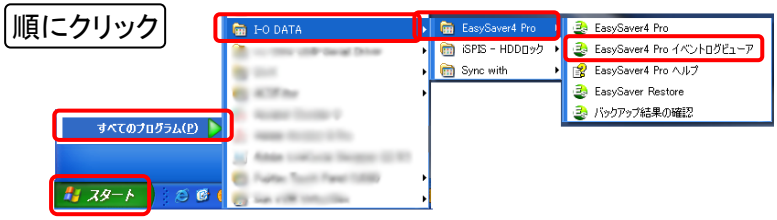
システムイベントログにもイベントを記録する	Windows のアプリケーションイベントログにもイベントを記録します。 ※ この機能は、Windows 7/Vista® の管理者(Administrator)および標準ユーザー、Windows XP/2000 の管理者(Administrator)権限でのみご使用になれます。	
	ログファイルのサイズ設定	
	最大値	イベントログファイルのサイズの上限を指定します。「64KB～512KB」の範囲で設定します。
	最大値を超えた場合	イベントログファイルのサイズが、上記の「最大値」で設定した値を超えた場合の対処方法を設定します。 ・古いイベントから削除する 古いイベントから順に、上記「最大値」を超えたサイズの分だけイベントが削除されます。 ・古いイベントをバックアップファイルへ移動する 古いイベントから順に、上記「最大値」を超えたサイズの分だけ残してバックアップイベントログファイルへイベントが移動されます。

参考

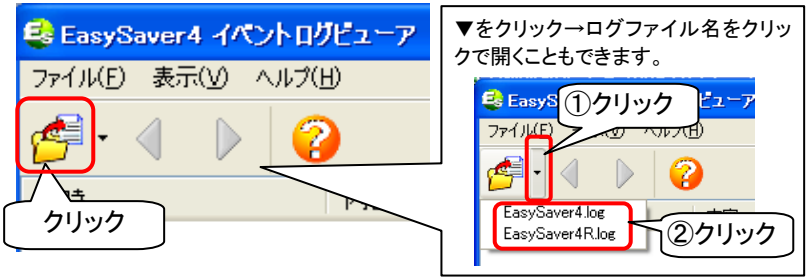
バックアップイベントログファイルの内容は[イベントログウィンドウ]以外に、[イベントログビューア]から確認することもできます。
[イベントログビューア]は以下の手順で起動します。

①[スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver4 Pro]→[EasySaver4 Proイベントログビューア]の順にクリックし、起動します。

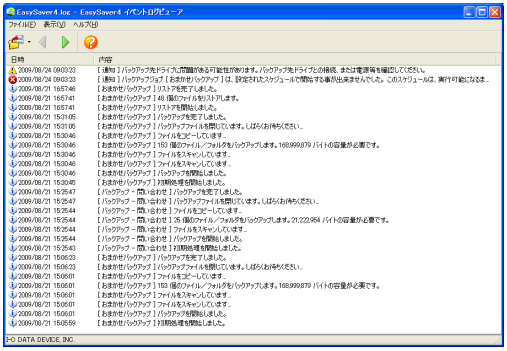
(画面例:Windows XP)



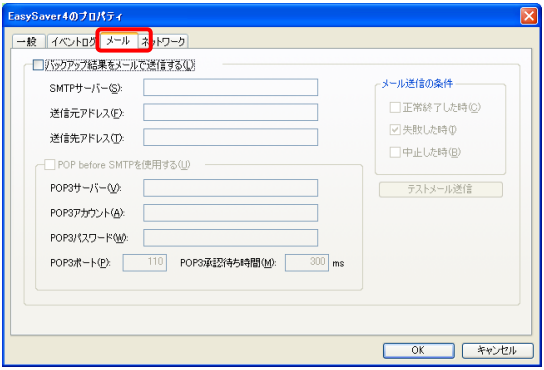
② [イベントログファイルを開く]アイコンをクリックします。



③ イベントログファイルを確認することができます。

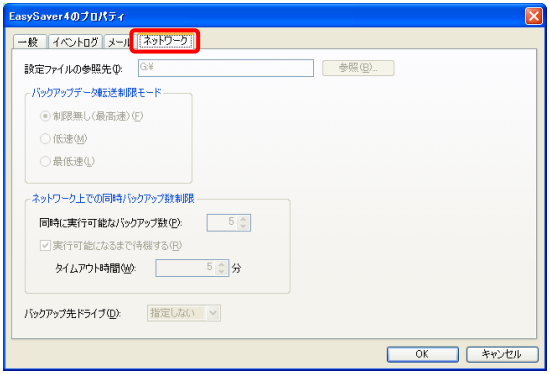


◎[メール]タブ



バックアップ結果をメールで送信する	バックアップ終了時に、バックアップ結果（イベントログ）をメールで送信します。 *※お使いのプロバイダによっては正常にご利用いただけない場合があります。予めご了承ください。*	
	SMTP サーバー	SMTP サーバーのアドレスを指定します。
	送信元アドレス	送信するメールの送信元となるメールアドレスを指定します。
	送信先アドレス	送信するメールの宛て先となるメールアドレスを指定します。複数の宛て先に送信したい場合には、各メールアドレスを「;」（セミコロン）で区切って入力してください。
	メール送信時の条件	どのような場合にメールを送信するかを指定します。（複数指定する事ができます。）
	テストメール送信	クリックすると設定した宛て先にテストメールを送信します。
	POP before SMTP を使用する	チェックすると、POP before SMTP を使用します。 ・POP3 サーバー POP3 サーバーのアドレスを指定します。 ・POP3 アカウント POP3 アカウント名を指定します。 ・POP3 パスワード POP3 パスワードを指定します。 ・POP3 ポート POP3 ポート番号を指定します。 ・POP3 承認待ち時間 POP3 承認待ち時間を指定します。

◎[ネットワーク]タブ



ご注意

[ネットワーク]タブは「サービスモード」でのみ設定できます。
「サービスモード」はネットワーク管理者の方のみが使用するモードです。
詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。

設定ファイルの参照先	共通設定ファイルの場所を指定します。 *※設定ファイルの参照先を変更するとサービスモードが利用できなくなります。よって通常、変更する必要はありません。*	
バックアップデータ転送制限モード	ネットワークドライブへのバックアップ時にデータの転送速度を制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。 *※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、常に最高速で実行されます。*	
	制限無し(最高速)	転送速度は制限されません。
	低速	最高速の約 66%程度の速度。 *※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。*
	最低速	最高速の約 33%程度の速度。 *※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。*

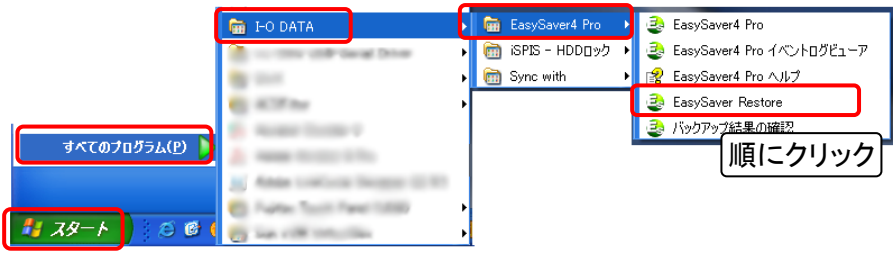
<table>
<tr><td rowspan="4">ネットワーク上での同時バックアップ数制限</td><td colspan="2">ネットワーク上で同時に実行可能なバックアップジョブの数を任意の数に制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。
※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、バックアップ数に含まれません。</td></tr>
<tr><td>同時に実行可能なバックアップ数</td><td>「1～30」の範囲で設定します。</td></tr>
<tr><td>実行可能になるまで待機する</td><td>本機能により、バックアップの開始が抑制された場合で、一定時間後、再度バックアップを実行する場合にチェックします。チェック後、下記の「タイムアウト時間」を設定します。</td></tr>
<tr><td>タイムアウト時間</td><td>本機能により、バックアップの開始が抑制されてから、再度バックアップを実行するまでの時間を設定します。上記「実行可能になるまで待機する」にチェックをつけた場合のみ有効です。
「1～480」（分）の範囲で設定します。
※上記「実行可能になるまで待機する」のチェックが外れている場合は、「待機しない」モードとなり、再実行しません。</td></tr>
<tr><td>バックアップ先ドライブ</td><td colspan="2">バックアップ先ドライブを任意のドライブ文字（番号）に固定する機能です。各クライアント PC で指定可能なバックアップ先ドライブ文字（番号）を統一する事で、管理をし易くします。
「C～Z」、または「指定しない」の範囲で設定します。</td></tr>
</table>

EasySaver Restore について

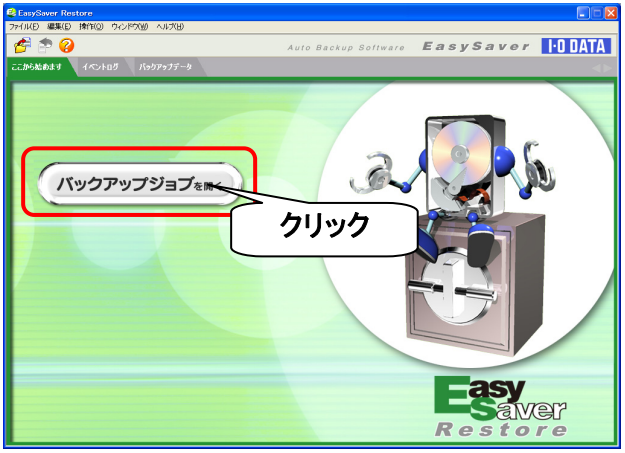
他の弊社製 EasySaver（EasySaver や EasySaver LE 等）で作成されたバックアップジョブを開き、バックアップジョブの確認・リストアすることができます。

1 [スタート]→[（すべての）プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver4 Pro]→[EasySaver Restore]の順にクリックし開きます。

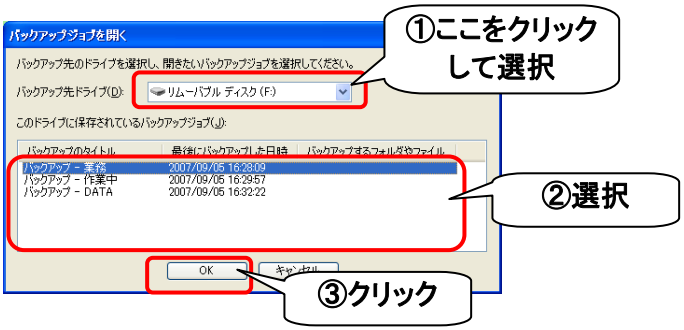
（画面例：Windows XP）



2 [バックアップジョブを開く]ボタンをクリックします。



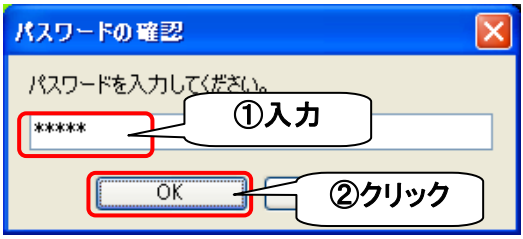
3 他のEasySaverで以前にバックアップジョブを保存したドライブを選択します。
以前にバックアップしたバックアップジョブが表示されますので、選択後、[OK]をクリックします。



使用上のご注意

多数のファイルがバックアップされたバックアップジョブを開く場合は、時間がかかります。また、その間パソコンが応答なしになる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。(ファイル数にもよりますが、長い場合で 30 分近くかかる場合もあります。)

4 バックアップジョブにパスワードを設定していた場合は、以下の画面が表示されます。
設定したパスワードを入力後、[OK]をクリックします。



5 リストア（復元）を行う場合は リストア （リストア）をクリックします。
リストアしたい場合は、41ページ【リストア（復元）する】参照

以上で、バックアップ結果の確認は完了です。

参考

バックアップデータタブからも他の EasySaver のバックアップジョブの確認やリストアすることができます。
（45ページ【バックアップジョブの内容を確認・リストア（復元）する（バックアップデータブラウジング）】参照

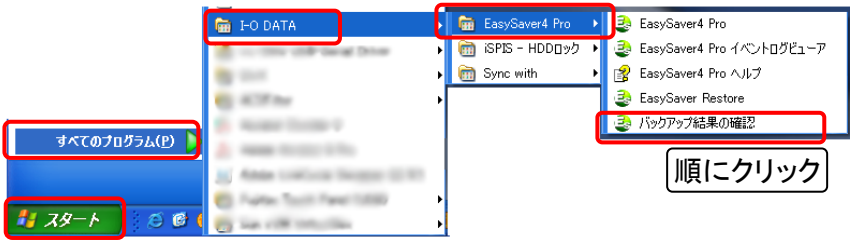
バックアップ結果の確認について

前回のバックアップが正常に終了していない可能性がある場合、パソコン起動時、バックアップ結果の確認ウィンドウが自動的に表示される場合があります。表示されているジョブは前回正常に終了しなかったジョブですので、再実行することをお勧めします。

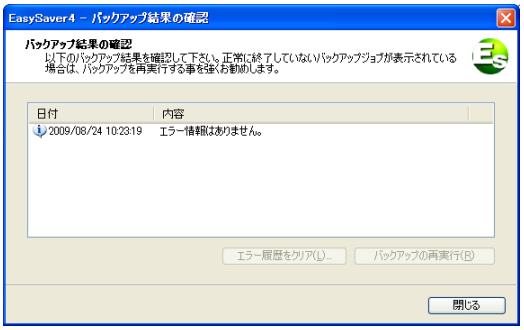
また、以下の手順でもエラー情報を確認することができます。

1 [スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver4 Pro]→[バックアップ結果の確認]の順にクリックし開きます。

(画面例:Windows XP)



2 バックアップ結果を確認し、正常に終了していないバックアップジョブが表示されている場合は、バックアップの再実行することをお勧めします。



以上で、バックアップ結果の確認は完了です。

困ったときには

トラブルの状態をご覧ください。また EasySaver ヘルプでも「よくある質問」や「エラーコード一覧」をご覧いただけます。

「サービス通信コマンドの送信の為のパイプ接続に失敗しました。EasySaver を終了します。」と表示され、EasySaver が起動せずに終了してしまう。

対処①	再度EasySaverを起動しなおしてください。
対処②	Windowsを再起動し、その後EasySaverを起動しなおしてください。

バックアップ時にエラーが発生する

原因	他のアプリケーションなどが、バックアップ対象のファイルを使用している可能性があります。
対処	バックアップ時は、バックアップ対象のファイルを使用するアプリケーションを全て終了させてください。 *※ファイルがロックされていたり、ファイル/フォルダに特殊な文字が使用されている場合などには、バックアップすることができません。その場合、そういったファイル/フォルダをスキップする事でバックアップする事ができます。詳しくは、次ページ[バックアップ中にスキップする設定]を参照してください。*

リストア時にエラーが発生する

原因	リストア先に同じ名前のファイルが存在する場合の上書き確認画面で、[すべて上書き]を選択すると、「アクセスが拒否されました」というエラーが発生する場合があります。
対処	[すべて上書き]ボタンを使用せず、[はい]をクリックして先へ進むようにしてください。

バックアップモードを変更できない

原因	一度バックアップを実施した後は、バックアップモードは変更できません。

「ジョブファイルが見つかりません」のエラーが発生する

原因	スケジュールが設定されているバックアップジョブをエクスプローラ等から削除してしまったり、ドライブやメディアをフォーマットしてしまったためです。
対処	[ファイル]→[スケジュールリストの表示]からバックアップスケジュールを削除してください。（[バックアップスケジュールを確認・削除する]37ページ参照）

ジョブ名が設定されているバックアップジョブを開いたのに、ジョブ名が無題と表示される

原因	バックアップファイルが壊れてしまったためです。
対処	バックアップファイルが保存されているドライブにチェックディスク等を行ってください。

バックアップ中にスキップする設定

ファイルをバックアップできない状況には、以下のようなものがあります。
以下のような場合は、バックアップ中にスキップする設定を行ってください。

・ファイルがロックされている

一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取られないようにロックする場合があり、そのようなファイルはバックアップする事ができません。

基本的には、全てのアプリケーションを終了してからバックアップを実行する事をお勧めしますが、常時起動しているアプリケーションが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合は、次ページの手順でスキップする事ができます。

・ファイル／フォルダ名に特殊な文字が使用されている

一部の特殊な文字をファイル名に使用しているとバックアップできない場合があります。

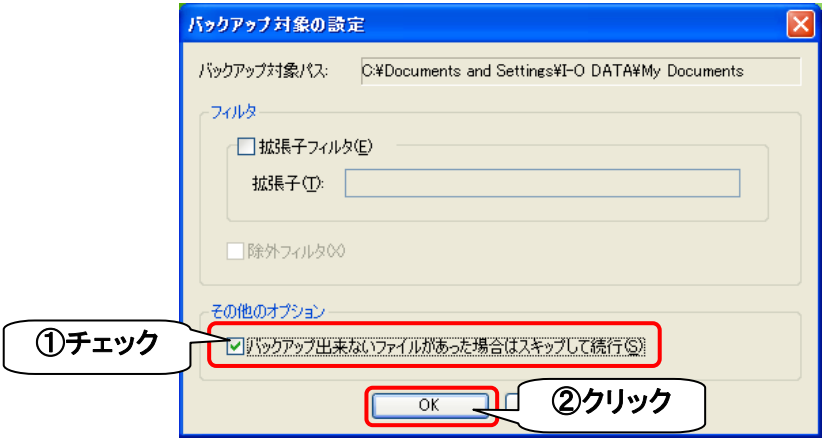
そのようなファイルも、次ページの手順でスキップする事ができます。

※スキップされたファイル名はイベントログに表示されます。ファイル名中の「?」で表示されている部分が該当する文字です。

1 【バックアップジョブを開く】（23ページ）の手順で、バックアップが正常にできないバックアップジョブを開きます。

2 バックアップ対象リストでスキップを設定するファイルを選択後、［編集］メニュー→［バックアップ対象のプロパティ］をクリックします。

3 [バックアップ出来ないファイルがあった場合はスキップして続行]をチェックし、[OK]をクリックします。



バックアップ出来ないファイルがあった場合はスキップして続行	このチェックボックスをチェックすると、バックアップ中に、バックアップできないファイルが見つかった場合でも、エラー終了せずにそのファイルをスキップしてバックアップを続行するようになります。

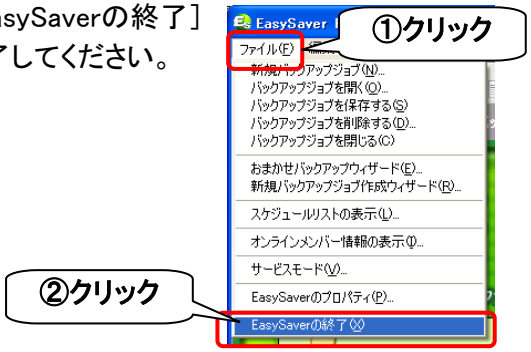
4 バックアップ（バックアップ）で正常にバックアップできることをご確認ください。

EasySaver4 Pro の削除

インストールした EasySaver4 Pro の削除方法について説明します。

※コンピュータの管理者のアカウント(Administrator)権限でログオンしてください。

1 スケジュールバックアップ機能を有効にしている際は、
[ファイル]メニュー→[EasySaverの終了]
でEasySaver4 Proを終了してください。



2 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]の順にクリックします。

3
・Windows 7/Vista®の場合
[プログラムのアンインストールまたは変更]をクリックします。
・Windows XPの場合
[プログラムの追加と削除]をクリックします。
・Windows 2000の場合
[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

4
・Windows 7/Vista®の場合
[EasySaver4 Pro]をクリックし、[アンインストール]をクリックします。
※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は[続行]をクリックします。
・Windows XP/2000の場合
[EasySaver4 Pro]をクリックし、[変更と削除](または[変更/削除])ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [完了]ボタンをクリックします。

以上で、インストールした EasySaver4 Pro の削除は完了です。

お問い合わせ

本ソフトウェアに関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などが紹介されていますのでご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
News など

本ソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3688** 東京…**03-3254-1095**
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSと本ソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

EasyServer4 Pro取扱説明書【操作編】 2009.09.09
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

Copyright © 2007-2009 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●
金　沢／TEL.076-260-3633　FAX.076-260-3360
東　京／TEL.03-3254-1092　FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）